

稲沢市観光まちづくりビジョン（第2次稲沢市観光基本計画）アクションプラン進捗状況【2020年度実績】

NO.	アクションプラン名	内容	主な取り組み	実施主体	実施計画	2020年度の取組実績・進捗状況 【令和3年2月末時点】	2021年度の取組方針(課題を踏まえて)
基本方針1 観光まちづくりを主体的に推進する人材育成と体制整備							
1	① 観光まちづくりに対する市民意識の醸成	<p>◆観光まちづくりへの市民の理解を深め、地域が一体となった受入体制の気運を高めるため、観光PRポスターやチラシ等を作成し、市内公共施設、主要集客施設、イベント、展示会場等、市民が多く目に触れる場所に掲示し、広く周知を図る。</p> <p>◆観光まちづくりに主体的に取り組む方々の活動情報を発信する方策を構築するとともに、活動者自らが積極的に情報発信できるよう支援していく。</p>	観光PRポスターやチラシ等の作成	市(商工観光課) 市観光協会	短期 (1~3年)	<p>【市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名鉄国府宮駅の地下改札前に設置しているデジタルサイネージを活用し、駅を利用する市民や通勤・通学者に向けて稲沢市の観光・イベント情報やPR動画を放映した。 【市・観光協会】 <ul style="list-style-type: none"> ・アビタ稲沢店及び豊田合成記念体育館(エントリオ)の協力を得て、各館内の稲沢市PRコーナーに観光パンフレットを設置し、市民が稲沢市の観光情報に触れる機会を新たに設けた。 【市観光協会】 <ul style="list-style-type: none"> ・「信長公生誕の地・稲沢市」の市民認知度を高めるため、市内の信長公ゆかりの地や観光スポット、飲食店・特産品店を巡る「信長くん育成スタンプラリー」を実施した。 ・市民と共に稲沢市の魅力を発信するInstagram投稿キャンペーン「(仮称)いいね！いなざわ 稲沢の魅力再発見」の実施に向けて準備を進めている。 ・稲葉宿を始めとする市内の美濃路エリアの魅力を市民や来訪者に広く伝えるため、いなざわ観光まちづくりメンバーとの協働により、「(仮称)美濃路マップ」の作成を進めている。 【市観光協会(いなざわ観光まちづくりラボ)】 <ul style="list-style-type: none"> ・ラボの存在を市民にPRし、興味関心を呼び込むことで、多様な主体を巻き込んだ観光まちづくり事業を展開していくため、PR用の活動資材を作成した(のぼり旗、ポロシャツ、ウインドブレーカー)。 	<p>【市・市観光協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き「るるぶ特別編集 稲沢市」や観光ガイドBOOK「信長と稲沢」を始めとする観光パンフレット、「勝幡城跡」の御城印を始めとするPRツール、デジタルサイネージ等の広報媒体を活用した市民啓発に努めるとともに、「いなざわ観光まちづくりラボ」の活動を通じて、地域を巻き込んだ観光まちづくり事業を進めていく。 【市観光協会】 <ul style="list-style-type: none"> ・Instagram投稿キャンペーン「(仮称)いいね！いなざわ 稲沢の魅力再発見」を展開しながら、市民や地域を巻き込んだ稲沢の魅力発信に取り組んでいく。
			活動内容の情報発信	市(商工観光課) 市観光協会	短期 (1~3年)	<p>【市観光協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市観光協会の公式Webサイトを活用して、ラボプロジェクトのイベント情報をタイムリーに発信した。また、同サイト内のラボ紹介ページにこれまでの実績を掲載し、情報の充実と活動内容の周知啓発に努めた。 【市観光協会(いなざわ観光まちづくりラボ)】 <ul style="list-style-type: none"> ・ラボメンバーが中心となって運営する情報ポータルサイト「いいなざわざわ」において、ラボメンバーが主催するイベントや市民が自ら取材して入手した稲沢市の隠れた魅力・スポット等の情報を随時発信した。 	<p>【市観光協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公式Webサイト内のラボ紹介ページの掲載情報を充実させるとともに、様々な媒体を通してラボが目指す姿や活動内容を発信することで、市民や地域への理解を深め、観光まちづくりを担うプレイヤーの裾野を広げていく。
1	② 観光まちづくり推進体制の整備	◆観光まちづくりを持続的に推進していくための推進組織として、稲沢市観光協会をファシリテーターとし、市民、事業者、団体等の多様な関係者による協働ネットワークで構成される観光まちづくりプラットフォーム「(仮称)いなざわ観光まちづくりラボ」を設置する。	「いなざわ観光まちづくりラボ」の立ち上げ 重点アクションプラン	市(商工観光課) 市観光協会	短期 (1~3年)	<p>【市観光協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2018年7月4日に「いなざわ観光まちづくりラボ」を設置。 (設立時メンバー数: 46名) (設立時プロジェクト数: 4プロジェクト) 	-

NO.	アクションプラン名	内容	主な取り組み	実施主体	実施計画	2020年度の取組実績・進捗状況 【令和3年2月末時点】	2021年度の取組方針(課題を踏まえて)
1	③ 観光協会の組織・機能強化	<p>◆稲沢市観光協会が持続的な観光まちづくりを推進する上で中核を担える存在となるよう、事業内容の整理や職員の適正配置、行政や関係機関・団体との連携を強化することで組織体制の充実を図る。</p> <p>◆「(仮称)いなざわ観光まちづくりラボ」のファシリテーターとして、市民との協働によって地域の多様な魅力を掘り起こし、プロジェクトの企画立案を実践(アクション)につなげていく。</p> <p>◆本市ならではの観光メニューを活かした誘客促進を図り、適切な集客・販売ルートにより地域経済の活性化に向けた仕組みを構築する。</p> <p>◆ターゲットを絞った戦略的な観光プロモーションを展開し、本市への来訪意欲を促すことで、消費意欲の喚起を図っていく。</p> <p>◆効果的な自主事業の展開により収入と会員の増加を図り、自主財源を確保することで経営基盤を強化し、将来的に旅行業資格の取得及び法人化移行による独立採算経営の可能性について検討していく。</p>	<p>「いなざわ観光まちづくりラボ」の運営</p> <p>重点アクションプラン</p> <p>関係機関・団体と連携した観光メニューの創出</p> <p>観光協会における職員適正配置</p>	<p>市(商工観光課) 市観光協会</p> <p>市(商工観光課) 市観光協会</p> <p>市(商工観光課) 市観光協会</p>	<p>短期 (1~3年)</p> <p>短期 (1~3年)</p> <p>中期 (3~5年)</p>	<p>【市観光協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ラボの運営を「全体会議」と「運営会議」の2本立てで行うこととし、年間を通じて全体会議を計4回、運営会議を計6回開催した。 ・組織運営面での自主性・自立性の向上を目指し、ラボのファシリテーターの役割を稲沢市観光協会とラボの中心メンバーが引き続き協働で担った。 ・ラボメンバーに対してアンケート調査を実施。ラボの意義や運営方法に関する考えを聞き取り、そこで得られた意見を今後のラボの運営に生かすこととした。また、コロナ禍におけるオンラインでの会議開催を検討した。 ・市観光協会が取り組む事業を魅力的かつ効果的に展開していくため、ラボメンバーに各種事業への参画を呼び掛け、個々の持つ知識や経験、ノウハウの活用に努めた。 ・ラボメンバーが企画したプロジェクトの提案を基に、ラボ活動(プロジェクト)に対する支援措置(支援金制度)を来年度から設けることになった。 ・市観光協会の公式Webサイトを活用して、ラボプロジェクトのイベント情報をタイムリーに発信した。また、同サイト内のラボ紹介ページにこれまでの実績を掲載し、情報の充実と活動内容の周知啓発に努めた。さらに、ラボメンバー間の交流・意見交換を促進し、活動の活性化を図るため、ラボ紹介ページ内にメンバー専用交流ページの機能を新たに設けた。 ・新たなプロジェクトとして、「いなざわseason2 ～ラボ活動交流の場としての機能追加～」、「新型コロナ退散 稲沢市民大太鼓」、「季節を運ぶ手作り小物 四季の詩」、「ラボ活性化キモチを形に」、「興化山長光寺 臥松水蘇り」が立ち上がった。 <p>(1月末時点メンバー数:60名) (1月末時点プロジェクト数:14プロジェクト)</p> <p>【市・市観光協会・稲沢商工会議所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・稲沢商工会議所が主催する「稲沢まちゼミ」(得する街のゼミナール)を活用して、着地型観光プラン「ぎんなんマイスターになろう!」を創出した。 <p>【市観光協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月から新たに観光・旅行業の経験者1名を観光コーディネーター(事務局次長)として採用し、5名体制で、①「いなざわ観光まちづくりラボ」の運営サポート、企画の実現に向けたコーディネート業務、②関係機関・団体と連携した観光メニューの創出、③公式Webサイトを活用した情報発信の強化、④新たな観光ルートや広域観光ルートの創出、⑤マーケティング分析に基づいた戦略的な観光プロモーションの実施など、「稲沢市観光まちづくりビジョン」の具現化に向けて取り組んだ。 	<p>【市観光協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体会議を2か月毎に定例開催し、意見交換やプロジェクトの提案など、情報交換を行っている。また、メンバー専用交流ページを通じて情報共有を図り、コロナ禍においてもプロジェクトの実現に向けた活発な活動が行えるよう支援の強化に努めていく。 ・プロジェクト活動への支援措置(支援金制度)について、運用ガイドラインを作成する。当制度の効果的な運用によってプロジェクトの具体化を図り、観光まちづくりの推進に繋げていく。 ・多様な主体の巻き込みとネットワークづくりを推進していくことで、新たなメンバーの獲得とプロジェクトの立ち上げに繋げていく。 <p><目標メンバー数・目標プロジェクト数> (2021年度末時点メンバー数:70名) (2021年度末時点プロジェクト数:17プロジェクト)</p> <p>【市・市観光協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民や市内の関係機関・団体だけでなく、他地域の観光協会、名古屋鉄道や中日新聞社等、地域の観光事業者とも連携し、稲沢市の特色を活かした魅力ある観光メニュー(特に体験型)の創出を図っていく。 ・美濃路街道連携協議会の加盟自治体や信長公ゆかりの資源を有する近隣市町(愛西市、津島市、清須市など)を始め、本市と共通のテーマ・資源を持つ地域と連携した観光メニューを創出することで、相乗的な誘客を目指す。 <p>【市・市観光協会・祖父江町商工会・農工商業者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2021年6月にオープン予定の「祖父江ぎんなんパーク」を活用し、ぎんなん収穫体験など、イチョウ黄葉の見学だけでなく祖父江イチョウの新たな楽しみ方を提案していく。 <p>【市観光協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商工会議所・商工会と連携し、地元企業の協力による産業観光メニューの創出を目指す。 <p>【市観光協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光コーディネーターを中心に5名体制で、引き続き「稲沢市観光まちづくりビジョン」の具現化に向けて取り組んでいく。

NO.	アクションプラン名	内容	主な取り組み	実施主体	実施計画	2020年度の実績・進捗状況 【令和3年2月末時点】	2021年度の実績方針(課題を踏まえて)
			適切な集客・販売ルートの拡充	市(商工観光課) 市観光協会 ほか	中期 (3～5年)	<p>【市・市観光協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛知・名古屋観光誘客協議会への参画を通じて、旅行事業者に「祖父江のイチョウ黄葉」を始めとする稲沢市の観光素材を活用した特別企画等を提案した。また、同協議会が主催する観光商談会(オンライン)に参加し、旅行事業者に本市の企画を組み入れた旅行商品の造成を働き掛けた。 ・11月8日に県営都市公園大高緑地で開催された「サムライ・ニンジャフェスティバル2020」に出展し、「信長公生誕の地・稲沢市」のPR活動を展開した。また、12月19日、20日と横浜で開催された「お城EXPO 2020」において、観光ガイドBOOK「信長と稲沢」の配布を行った(出展なし。)。さらに、2021年3月20日、21日開催予定の「につぼん城まつり feat.出張！お城EXPO in 愛知」に愛西市と共同で出展し、「信長と稲沢」の配布や「勝幡城跡」の御城印販売、信長ゆかりの地を巡るバスツアーの募集告知などを行う。 <p>【市観光協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「祖父江のイチョウ黄葉散策」を組み入れたバスツアーを主催する旅行事業者に対し、次年度以降もコース設定していただけるよう、きめ細かな受入対応(ガイド案内)に努めた。 ・美濃路稲葉宿の視察に訪れた旅行事業者をガイド案内し、旅行商品の造成を働き掛けた。 	<p>【市・市観光協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光商談会(オンライン開催を含む。)や観光PR展等への参加を通じて旅行事業者を始めとする観光関係者との関係強化に努めるとともに、本市の観光素材を積極的に売り込み、新たな旅行商品の造成を促していく。 ・武将、城郭、街道に関するイベント等に出展することで、織田信長や勝幡城跡、美濃路に興味関心の高いターゲット層へのアプローチを強化する。 <p>【市観光協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ性のあるバスツアーや着地型体験プランなど、地域資源と来訪者ニーズ、旅行形態をマッチングさせた企画商品を展開する観光事業者へのアプローチにより、販売ルートの拡充を図っていく。
			戦略的な観光プロモーションの実現	市(商工観光課) 市観光協会 ほか	中期 (3～5年)	<p>【市・市観光協会・県観光協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多数のアクセス数を誇る愛知の公式観光Webサイト「Aici Now」や愛知の旅まるごとマガジン「旬感観光あいち」を活用し、本市の観光・イベント情報の拡散を図った。 <p>【市観光協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「信長公生誕の地・稲沢市」の認知度を高めるため、「勝幡城跡」を始めとする市内の信長ゆかりの地や観光スポットと一緒に飲食店等を巡る「信長くん育成スタンプラリー」を実施した。また、「サムライ・ニンジャフェスティバル2020」を始めとする武将・城郭イベントに出展し、各会場でPR活動を展開した。 ・市民と共に稲沢市の魅力を発信するInstagram投稿キャンペーン「(仮称)いいね！いなざわ 稲沢の魅力再発見」の実施に向けて準備を進めている。 <p>【市観光協会・交通事業者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JR東海や名古屋鉄道に対してハイキングの実施を提案し、6月に稲沢あじさいまつり会場を通るJRさわやかウォーキング、9月に名鉄ハイキングを企画していたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、いずれも中止となった。 <p>【祖父江町商工会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「そぶえイチョウ黄葉まつり」は中止となったが、多くのメディアから問合せや取材が相次いだ。これらに全面的に協力することで、今後のメディアプロモーションに向けた関係構築に努めた。 	<p>【市・市観光協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「お城EXPO」を始めとする武将観光・城郭観光イベントへの出展のほか、愛知のお城観光推進協議会への参画を通じて、愛知県や愛知県観光協会、県内市町村と連携したお城観光を推進し、「信長公の生誕地・稲沢市」の知名度向上と観光誘客に繋がるプロモーション活動を積極的に展開していく。 ・観光商談会(オンライン開催を含む。)や観光PR展等への参加を通じて旅行事業者を始めとする観光関係者との関係強化に努めるとともに、来訪者ニーズを踏まえた観光素材の楽しみ方やテーマ性のあるコース提案などに取り組み、新たな旅行商品の造成を促していく。また、愛知県、愛知県観光協会、運輸機関(鉄道会社等)やマスメディア等との連携により、PR・プロモーションや周遊促進施策を効果的に展開し、本市への更なる観光誘客に繋げていく。 ・豊田合成記念体育館(エントリオ)でプロスポーツチームの公式戦が今後も年間を通じて開催され、多くの来場者が見込まれる。試合観戦と共に市内の周遊観光を楽しんでいただけるよう、来場者に向けた観光PRを仕掛けていく。 <p>【市観光協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Instagram投稿キャンペーン「(仮称)いいね！いなざわ 稲沢の魅力再発見」を展開しながら、市民や地域を巻き込んだ稲沢の魅力発信に取り組んでいく。
			自主事業の推進による独立性の確保	市(商工観光課) 市観光協会	長期 (5年以上)	<p>【市観光協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・稲沢市マスコットキャラクター「いなッピー」グッズ等の販売による収益確保に努めた。新商品として、豊田合成所属の男子プロバレーボールチーム「ウルブックス名古屋」のマスコットキャラクター「ウルドくん」とのコラボ缶バッジを販売するなど、新たな顧客の獲得に努めた。また、JR稲沢駅の東側に9月末にオープンした豊田合成体育館(エントリオ)併設のコンビニ「ポブラ」でも商品販売を開始し、販路の拡大に努めた。 ・新たな収益グッズとして、「信長公生誕の地・勝幡城跡」をPRする御城印の制作と販売準備を進めている。 	<p>【市観光協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光協会の会員としてのメリットを明確に打ち出すことで、既存会員の確保と新規会員の獲得に繋げる。 ・「いなッピーグッズ」や新たに作成する武将観光関連グッズ(御城印等)の販売に加え、公式Webサイトを充実させ、アクセス数を増やすことで、パナー広告収入を獲得し、自主財源の確保を目指す。

NO.	アクションプラン名	内容	主な取り組み	実施主体	実施計画	2020年度の取組実績・進捗状況 【令和3年2月末時点】	2021年度の取組方針(課題を踏まえて)
			法人化移行の検討	市(商工観光課) 市観光協会	長期 (5年以上)	【市・市観光協会】 ・先進地域の情報収集に引き続き取り組んだ。	【市・市観光協会】 ・先進地域の現状や組織のあり方について、引き続き調査研究を進めていく。 また、「稲沢市観光まちづくりビジョン」に位置付けられた市観光協会の役割を果たしていくために組織として何が必要かを見定めていく過程で、法人化の必要性を慎重に検討していく。
1	④ 観光受入体制(おもてなし環境・おもてなし体制)の整備	<p>◆国内外からの来訪者に対応するため、行政、市民、観光関係者が連携して、「おもてなし意識」の醸成や観光関連施設等の「おもてなし環境」を整備する。</p> <p>◆おもてなしの第一線で活躍する観光人材の育成に向けて、本市の歴史や文化、ガイドとしての心得等を学ぶ観光ボランティアガイド育成講座を継続的に開催するほか、市民や観光事業者が本市の魅力やおもてなしの作法等を学ぶことができる「おもてなし」講座や研修会を開催する。</p> <p>◆情報提供や人の交流などの機能を持ったおもてなしの施設づくりも併せて検討し、来訪・交流人口の拡大とリピーターの確保を図る。</p>	観光ボランティアガイドの育成及び主体的な活動の支援	市観光協会	短期 (1～3年)	【市観光協会】 ・今年度も旅行事業者から「祖父江のイチョウ黄葉」に対する現地ガイドの要請が多数寄せられたため、ガイド研修を11月に4回開催し、受入体制の整備に努めた。 (バスツアー受入数:7件120名) ・9月3日に岐阜県大垣市にある美濃赤坂宿の赤坂ボランティアガイドセンターを訪問し、観光ガイドの手法について学んだ。また、美濃路稲葉宿での観光ガイドの実施に向けて、2月19日に現地研修を行った。	【市観光協会】 ・来年度以降も引き続き「祖父江のイチョウ黄葉」に対する現地ガイドの要請が多数見込まれるため、入念なガイド研修機会を設けるとともに、市内の関係団体や大学にも働き掛けて新たな参加者の確保を図る。また、2021年6月にオープン予定の「祖父江ぎんなんパーク」を有効活用できるよう、黄葉時期以外も含めたガイド案内の可能性について検討していく。 ・ガイド可能エリアの拡充に向けた取組を推進する。具体的には、美濃路稲葉宿、長光寺、勝幡城跡などを対象とした仕組みづくりと育成研修を行っていく。
			「おもてなし」講座や研修会の開催	市観光協会	短期 (1～3年)	【市観光協会(いなざわ観光まちづくりラボ)】 ・「いなざわ観光まちづくりラボ」のメンバー6名が愛知県が主催する「あいち観光まちづくりゼミ」へ参加し、他地域の観光関係者との交流活動を通じて、参考となるおもてなし手法を学んだ。	【市観光協会】 ・観光ボランティアガイドや「いなざわ観光まちづくりラボ」のメンバーに「あいち観光まちづくりゼミ」や様々な研修等への参加を促し、他地域の観光関係者から参考となるおもてなし手法の習得を目指す。また、一般市民も対象とした「おもてなし」講座や研修会を企画し、参加者から新たなボランティアガイドを募っていく。
			観光案内看板や施設内誘導看板などの整備	市(商工観光課)	短期 (1～3年)	【市】 ・市指定史跡「勝幡城跡」への案内看板及び路面標示案内シートを新たに設置した。また、経年劣化した美濃路進路表示板4基を修繕した。	【市】 ・美濃路稲葉宿本陣跡ひろばの利便性を向上させるため、施設内に駐車場誘導看板と利用案内看板を新たに設置する。
			文化財の案内看板の拡充	市(生涯学習課)	短期 (1～3年)	【市】 ・市指定史跡「勝幡城跡」の場所を案内し、来訪者の利便性を向上させるため、案内看板を2基設置した。 また、市指定無形民俗文化財「山崎地藏まつり付山崎地藏寺太鼓」の周知のため、開催場所に案内看板を設置した。	【市】 ・引き続き文化財所有者とも協力し、文化財標柱等の適切な維持・管理に努めるとともに、必要に応じて修繕等を行う。
			観光パンフレット設置場所の充実	市(商工観光課) 市観光協会	短期 (1～3年)	【市・観光協会】 ・アピタ稲沢店及び豊田合成記念体育館(エントリオ)の協力を得て、各館内の稲沢市PRコーナーに観光パンフレットを設置し、市民及び来訪者が稲沢市の観光情報に触れる機会を新たに設けた。	【市・市観光協会】 ・「るるぶ特別編集稲沢市」や観光ガイドBOOK「信長と稲沢」を始めとする稲沢市の観光パンフレットを多くの人に見てもらい、来訪又は周遊のきっかけにしようため、既存の設置場所を維持しつつ、新規拡充も図っていく。 また、市観光協会の会員や関係組織・団体に対し、観光パンフレットの設置協力を求めていく。
			デジタルサイネージの設置と活用	市(商工観光課) 市観光協会	短期 (1～3年)	【市】 ・稲沢市の主要玄関口である名鉄国府宮駅の地下改札前に設置しているデジタルサイネージを活用し、駅利用者に向けて本市の観光情報(観光・イベント情報、PR動画など)を発信した。 ・デジタルサイネージの更なる有効活用を図るため、利用時のルールを定めた運用要領を策定した。今後庁内及び関係機関・団体等に対して、利用促進を図っていく。	【市】 ・デジタルサイネージを活用した観光情報の発信を引き続き積極的に行い、市内観光スポットへの誘導に繋げていく。また、庁内及び関係機関・団体等に対して利用促進を図り、稲沢市の魅力発信ツールとして広く活用していく。
			観光関連施設におけるWi-Fi環境の整備	市(商工観光課) 市観光協会 観光事業者 交通事業者 寺社 農商工業者 ほか	中期 (3～5年)	【市】 ・2021年3月6日、7日に開催予定の「いなざわ梅まつり」において、来場者サービスの一環として無料Wi-Fiスポットを開設する。 (その他の祭り・イベントでも開設を予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い中止となったため、設置できず。) ・11月3日に美濃路稲葉宿本陣跡ひろばで開催した「稲沢再発見シンポジウム 美濃路稲葉宿本陣跡ひろばで歴史を語る」、11月28日に国府宮参道で開催した「稲沢イルミネーション点灯式」において臨時的Wi-Fiスポットを開設し、現地からのオンライン生配信に活用した。	【市】 ・毎年多くの観光客が見込まれる祭り・イベントにおいて、来場者サービスの一環として会場内に無料Wi-Fiスポットを開設する。現地情報の拡散を促すことで、更なる観光誘客に繋げていく。また、コロナ禍における新たなイベントの実施手法として、オンライン配信での活用も引き続き行っていく。

NO.	アクションプラン名	内容	主な取り組み	実施主体	実施計画	2020年度の取組実績・進捗状況 【令和3年2月末時点】	2021年度の取組方針(課題を踏まえて)
			まち歩きアプリの活用	市観光協会	中期 (3～5年)	【市観光協会】 ・スマートフォンを活用し、市内の信長公ゆかりの地や観光スポット、飲食店・特産品店を巡る「信長くん育成スタンプラリー」を実施した。	【市観光協会】 ・スマートフォンを活用した「美濃路ウォーキングスタンプラリー」など、周遊観光に繋がるオンライン企画の実施について検討していく。
			観光案内所の設置検討	市(商工観光課) 市観光協会	長期 (5年以上)	【市・市観光協会】 ・具体的な検討に至らず。	【市・市観光協会】 ・美濃路稲葉宿本陣跡ひろばの建物について、案内所的な機能を含め、観光ボランティアの拠点施設として活用できるよう具体的な検討を進めていく。
1	⑤ 外国人観光客の受入体制の整備	◆外国人観光客の観光ニーズは多様であり、国籍・文化・宗教等によりきめ細かな対応や受入側の理解が必要になるため、本市の持つ地域資源や文化に対して関心が高い国や属性等について、各種調査等を通じて継続的な把握に努める。 ◆多言語表記の観光案内看板の設置や多言語に対応した案内ボランティアの研修等を実施する。	各種調査等による外国人観光客の実態把握	市(商工観光課) 市観光協会	中期 (3～5年)	未実施	【市・市観光協会】 ・新型コロナウイルスの終息後に外国人観光客を受け入れていくため、国や県が実施する外国人観光客の動向調査結果を分析するとともに、本市の実態を把握する手法を検討する。
			多言語表記の観光案内看板や施設内誘導看板などの整備	市(商工観光課) 市観光協会 ほか	中期 (3～5年)	【市】 ・市指定史跡「勝幡城跡」への案内看板及び路面標示案内シートを新たに設置した。 (いずれも日本語・英語表記)。	【市観光協会】 ・公式Webサイトのコンテンツ充実にも努めるとともに、外国人観光客を意識したページづくりにも取り組んでいく。 【祖父江町商工会】 ・「そぶえイチョウ黄葉まつり」への外国人観光客の受け入れを視野に入れ、多言語案内看板の設置や多言語対応可能なホームページの開設等の取組を進めていく。
			多言語観光ボランティアガイド育成の検討	市観光協会	中期 (3～5年)	実施なし	【市観光協会】 ・稲沢市国際友好協会と連携し、外国人向け観光ボランティアの育成を目指す。
			飲食店や宿泊施設などにおける多言語表記の啓発	市(商工観光課) 市観光協会 観光事業者 交通事業者	中期 (3～5年)	未実施	【市・市観光協会】 ・啓発方法について検討していく。
			まち歩きアプリと多言語ガイドブックの活用	市観光協会	中期 (3～5年)	実施なし	【市・市観光協会】 ・稲沢市観光ガイドブックの多言語化(英語版以外の発行)について検討していく。
基本方針 2 稲沢市の魅力を体感でき、様々な分野や人をつなぐ観光・交流メニューの創出							
2	① 地域資源の活用と新たな観光資源の発掘	◆従来の観光資源(国府宮はだか祭をはじめとした祭り・イベント、桜、アジサイ、イチョウ黄葉等)に加え、自然、文化、歴史、産業、環境、健康、スポーツなどの様々な地域資源を掘り起こし、これらを活用し、つなぎ、磨き上げることによって、年間を通じて本市の魅力を体験できる着地型観光メニューを創出していく。 ◆メニューの創出にあたっては、各地域資源の歴史的背景やこだわりを“ヒト”との交流により伝えていくことで、新たな付加価値を生み出し、満足度の向上を目指す。	既存イベントにおける連携強化	市(商工観光課) 市観光協会 商工会議所 商工会 市民団体 大学	短期 (1～3年)	【市・市観光協会・商工会議所・商工会・市民団体】 ・愛知県から示されたイベント実施方針を始め、コロナ禍におけるイベントの開催方法、感染防止策について、主催者間で情報共有に努めた。 【市観光協会】 ・2021年3月6日、7日開催の「いなざわ梅まつり」において、関係団体との連携の下、特産品販売や「尾張国分寺跡ウォーキングツアー」、「やわせてくウォーキング」など、地域の魅力を再発見していただく取組を実施する。 【祖父江町商工会】 ・「そぶえイチョウ黄葉まつり」は中止となったが、イチョウ黄葉の観賞に訪れた方に向けて、地元飲食店及び土産・特産品店の一覧表と地図を商工会のホームページに掲載し、PRに努めた。なお、来年度に向けて各店舗の提供情報を充実させるため、希望する店舗の紹介ページを年度内に作成し、掲載していく。 【稲沢イルミネーション実行委員会(いなざわ観光まちづくりラボ)】 ・「稲沢イルミネーション」(11月28日～12月25日開催)において、市内の大学や活動団体等と連携し、オンライン点灯式や「すまいるムービー」プロジェクト、医療従事者に感謝と応援メッセージを届ける「稲沢ブルーライトアッププロジェクト」や「星川楽器マラソンコンサート」を実施するなど、新型コロナウイルスの影響で落ち込んでいる地域に元気を取り戻すための取組を行った。	【市・市観光協会・商工会議所・商工会・市民団体】 ・引き続き祭り・イベント間での情報共有を図り、連携した情報発信に努めることで、年間を通じた観光誘客に繋げていく。 【市観光協会】 ・オンラインでの展開を含め、コロナ禍でも連携して取り組んでいけるイベントを検討していく。 【祖父江町商工会】 ・今後も「そぶえイチョウ黄葉まつり」と連携した事業を、各種補助金制度を活用しながら展開し、自然・産業を始めとする稲沢市の資源のPRに努めていく。 【稲沢イルミネーション実行委員会(いなざわ観光まちづくりラボ)】 ・今後も市内で活動する団体等と幅広く連携を取りながら、魅力あふれるイベント企画を展開していく。

NO.	アクションプラン名	内容	主な取り組み	実施主体	実施計画	2020年度の取組実績・進捗状況 【令和3年2月末時点】	2021年度の取組方針(課題を踏まえて)
			地域資源の掘り起こしと活用方法の検討	市(商工観光課) 市(農務課) 市観光協会 商工会議所 商工会 JA 観光事業者 交通事業者 寺社 農商工業者 市民団体 市民個人 大学	中期 (3~5年)	<p>【市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旧美濃路の稲葉宿本陣跡地に、まち歩きの際に立ち寄ることができ、地域交流を図ることができる街道観光の拠点施設として、「美濃路稲葉宿本陣跡ひろば」がオープンした。 ・「(仮称)イチヨウ見本園」の名称が正式に「祖父江ぎんなんパーク」に決定。2021年6月の供用開始に向けて整備を進めている。 <p>【市・市観光協会・農商工業者・市民団体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サリオパーク祖父江でのアクティビティ体験や農園見学・収穫体験などについて、2021年度からの新たな観光メニューとして活用できるよう関係者と連携して準備を進めた。 <p>【市・国・県・市民団体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サリオパーク祖父江の活性化、年間を通じた誘客に向けて、サリオパーク祖父江イベント実行委員会を中心に、当地の特色を活かした多様なイベントを企画したが、新型コロナウイルスの影響により春、夏のイベントは中止、秋のイベントも縮小開催となった。 <p>【市・大学】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛知文教女子短期大学と市が連携し、地域資源である美濃路の現在・過去・未来を探り、その魅力を観光にどう活かすかを考えるイベント「稲沢再発見シンポジウム美濃路稲葉宿本陣跡ひろばで歴史を語る」を11月3日に「美濃路稲葉宿本陣跡ひろば」で開催した。当日は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い一般来場を控えていただくようお願いし、その代替措置として現地からのオンライン生配信を行った。 <p>【市観光協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「信長公生誕の地・勝幡城跡」をPRする御城印(販売用)のほか、現存しない勝幡城の姿を可視化し、誘客促進ツールとして活用するため、復元CG映像の制作を進めている。 ・稲葉宿を始めとする市内の美濃路エリアの魅力を市民や来訪者に広く伝えるため、「いなざわ観光まちづくりラボ」メンバーとの協働により、「(仮称)美濃路マップ」の作成を進めている。 <p>【稲沢商工会議所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業観光資源掘り起こしチームを立ち上げ、計5回審議した。現在、見学受入可能事業所の選定を進めている。 <p>【祖父江町商工会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域資源「イチヨウ・銀杏」を活用した通年型商品の開発を検討するため、国の補助事業により銀杏の有効成分を活用した機能性飲料4種類及びメガネフレーム2種類の試作品を開発した。飲料については、店舗の協力を得て試飲モニタリング調査を実施している。 <p>【祖父江ぎんなんブランド推進協議会(JA愛知西・市・市観光協会・県・祖父江町商工会・農商工業者)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内に点在する「祖父江ぎんなん」を使った料理や加工品を提供する店舗を繋げ、地域一体となってPRIに取り組んでいくため、食をテーマに地域活性化と観光需要の拡大に向けた活動を行う地域を支援する、愛知県の「いいともあいち食の街道」制度に申請し、「祖父江ぎんなん街道」として認定を受けた。 	<p>【市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2021年度は本市が美濃路街道連携協議会の幹事市となることから、地域及び関係市町との連携の下、美濃路稲葉宿本陣跡ひろばを活用して美濃路パネル展や美濃路ウォーク等の街道観光事業を展開していく。 <p>【市・市観光協会・祖父江町商工会・JA愛知西・農商工業者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2021年6月の供用開始に向けて「祖父江ぎんなんパーク」の整備を引き続き進める。オープン後は、祖父江ぎんなんブランドの更なる向上とともに、「そぶえイチヨウ黄葉まつり」の会場活用を始め「銀杏・歴史・健康」などをテーマに幅広い世代の人々が訪れ、多彩な交流が図れる拠点づくりを目指す。 <p>【市・市観光協会・祖父江町商工会・農商工業者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「祖父江ぎんなんパーク」を活用し、ぎんなん収穫体験など、イチヨウ黄葉の見学だけでなく祖父江イチヨウの新たな楽しみ方を提案していく。 <p>【市・市観光協会・市民団体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サリオパーク祖父江でのアクティビティ体験について、観光メニューとしての活用を図り、商品化に繋げる。また、流通ルートを開拓し、若者やファミリー層を主要なターゲットとして誘客を図る。加えて、「いなざわ観光まちづくりラボ」との協働により、新たなメニューの創出にも取り組んでいく。 <p>【市・国・県・市民団体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サリオパーク祖父江イベント実行委員会を中心に、3公園の特色を活かした多様なイベント企画を通年で展開していく。 <p>【市観光協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「信長公生誕の地・勝幡城」をPRするための販売グッズとして、新たに「信長公武將印」、「勝幡城の縄張り図」の制作に取り組んでいく。 ・美濃路稲葉宿の魅力を高め、誘客を促進するためのツールとして、新たに「稲葉宿御宿印」の制作販売に取り組んでいく。 <p>【稲沢商工会議所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業観光の受入可能事業所を決定後、対象を小中高生と市民に分けて工場見学や体験学習等を行っている。 <p>【祖父江町商工会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域資源「イチヨウ・銀杏」の更なる掘り起こし、高齢化・後継者不足による生産者減少の食い止め、銀杏の小粒化・不作を補完する通年型商品開発への対応に努めていく。開発中の飲料については、2019年度・2020年度に実施した試飲モニタリング調査の結果を基に、今後の商品化を目指していく。また、「イチヨウ・銀杏」を広くPRできるように、引き続き各団体と広く意見交換を行っていく。 ・「祖父江ぎんなん街道」の認定をキッカケとして、銀杏を使った菓子、料理を始め、黄金色に染まる景色を楽しんでもらえるよう情報発信に努めていく。 <p>【祖父江ぎんなんブランド推進協議会(JA愛知西・市・市観光協会・県・祖父江町商工会・農商工業者)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協議会のホームページでイベント・販売情報を発信するなど、更なる知名度向上と消費拡大を目指し、地域一体となって「祖父江ぎんなん」の魅力をPRしていく。

NO.	アクションプラン名	内容	主な取り組み	実施主体	実施計画	2020年度の取組実績・進捗状況 【令和3年2月末時点】	2021年度の取組方針(課題を踏まえて)
			着地型観光メニューの創出	市(商工観光課) 市観光協会 観光事業者 交通事業者 寺社 農商工業者 市民団体	中期 (3~5年)	【市・市観光協会・稲沢商工会議所】 ・稲沢商工会議所が主催する「稲沢まちゼミ」(得する街のゼミナール)を活用して、着地型観光プラン「ぎんなんマイスターになろう!」を創出した。 【市・市観光協会・農商工業者・市民団体】 ・サリオパーク祖父江でのアクティビティ体験や農園見学・収穫体験などについて、2021年度からの新たな観光メニューとして活用できるよう関係者と連携して準備を進めた。 【市観光協会・農商工業者】 ・「祖父江のイチョウ黄葉」の時期に、銀杏生産者宅でのイチョウ原木の見学と銀杏試食体験を行う観光メニューを創出し、旅行業者に提案した。	【市・市観光協会・祖父江町商工会・農商工業者】 ・2021年6月にオープン予定の「祖父江ぎんなんパーク」を活用し、ぎんなん収穫体験など、イチョウ黄葉の見学だけでなく祖父江イチョウの新たな楽しみ方を提案していく。 【市・市観光協会・農商工業者・市民団体】 ・サリオパーク祖父江でのアクティビティ体験や農園見学・収穫体験など、個々に実施されているものの観光メニューとして活用されていないコンテンツが市内に潜在しているため、その整理を行い商品化に繋げるとともに、関係事業者や「いなざわ観光まちづくりラボ」との連携協働により、新たなメニューの創出に取り組んでいく。
			国府宮はだか祭体験参加プログラムの検討	市(商工観光課) 市観光協会 観光事業者 寺社 市民団体 市民個人	中期 (3~5年)	実施なし	【市・市観光協会】 ・「お宿 和陽館」が提供する「国府宮はだか祭参加プラン」について、各種広報媒体を通じて情報発信していく。併せて、他の実施方法についても引き続き研究していく。
2	② 観光ルートの創出・ストーリーづくり	◆年齢、性別、グループといった基本属性、テーマ、季節など、マーケットのニーズに応じて様々な観光資源をつなげたモデルルートを創出する。	サリオパーク祖父江と善光寺東海別院等の周辺施設を組み合わせた観光ルートの設定	市(商工観光課) 市観光協会	短期 (1~3年)	未実施	【市観光協会】 ・5月上旬に見頃を迎えるサリオパーク祖父江近隣にある王子板紙工場外周のツツジ(稲沢市景観地50選の一つ)やサリオパーク、善光寺東海別院、祖父江ふれあいの郷(天然温泉)などを巡るモデルルートを創出し、2022年春に延期された善光寺東海別院の御開帳期間にツアーが実施できるよう旅行業者に提案していく。
			自然と歴史文化を組み合わせた観光ルートの設定	市(商工観光課) 市観光協会	短期 (1~3年)	【市観光協会】 ・「祖父江のイチョウ黄葉」のPRに際し、荻須記念美術館、善光寺東海別院、銀杏料理店等々を組み合わせた観光ルートを設定し、旅行業者に紹介した。 【市観光協会(いなざわ観光まちづくりラボ)】 ・「いなざわ梅まつり」の開催に合わせて、矢合地区内の文化財や梅園等の名所を巡りながら楽しくウォーキングするイベント「やわせ! てくてくウォーキング♪」をラボ主催で実施する。(2021年3月7日開催予定)	【市観光協会】 ・季節毎の花や風景、祭り、美濃路や勝幡城跡、神社・仏閣等の歴史文化を組み合わせたテーマ性やストーリー性のある観光ルートを創出し、市観光協会の公式Webサイト内で紹介することで、来訪者のサービス向上と観光関係者の二次活用に繋げていく。 【市観光協会(いなざわ観光まちづくりラボ)】 ・「やわせ! てくてくウォーキング♪」をラボ主催で継続実施する。
			JAFと連携したドライブルートの設定	市(商工観光課) 市観光協会 交通事業者	短期 (1~3年)	【市・市観光協会・交通事業者】 ・JAFが企画した「おうちで過ごす家たびスタンプラリーあいち」に参画し、JAFのWebサイト上で稲沢市の観光情報や特産品のPRを展開した。	【市】 ・「稲沢あじさいまつり」においてJAF会員優待特典を活用することで、自動車ユーザーの誘客に繋げていく。 【市・市観光協会】 ・JAFとの観光連携協定を活用し、新たな周遊ドライブコースの設定及びJAF広報誌等での観光資源のPRに取り組んでいく。
			武将観光ルートの創出	市(商工観光課) 市観光協会	中期 (3~5年)	【市・市観光協会】 ・愛西市との連携により、勝幡城跡を始めとする両市の信長公ゆかりの地を巡る武将観光ルートを設定した。また、当ルートを活用したバスツアーを企画し、2021年3月20日、21日開催予定の「につぼん城まつり feat.出張!お城EXPO in 愛知」で募集告知を行う。 【市・市観光協会(いなざわ観光まちづくりラボ)】 ・愛知県が主催する「あいち観光まちづくりゼミ」に参加したラボメンバーが他地域の観光関係者と連携し、勝幡城跡を起点として津島市、愛西市、清須市内の信長公ゆかりの地を巡る広域観光ルートを創出した。 【市観光協会】 ・市内の信長公ゆかりの地や観光スポット、飲食店・特産品店を巡る「信長くん育成スタンプラリー」を実施し、「信長公生誕の地・稲沢市」の認知度向上と誘客に繋げた。	【市・市観光協会】 ・勝幡城推定復元模型と信長親子像を有する愛西市を始め、津島市、清須市など信長公ゆかりの資源を有する近隣市町と連携した新たな観光ルートを創出することで、相乗的な誘客に繋げていく。 ・観光ガイドBOOK「信長と稲沢」を活用し、市内の信長公ゆかりの地を巡る観光ルートを創出することで、新たな誘客に繋げるとともに、観光客の市内周遊性を高める。 ・愛知のお城観光推進協議会への参画を通じて、愛知県や愛知県観光協会、県内市町村との連携を強化し、新たな武将観光ルートの創出に繋げる。

NO.	アクションプラン名	内容	主な取り組み	実施主体	実施計画	2020年度の取組実績・進捗状況 【令和3年2月末時点】	2021年度の取組方針(課題を踏まえて)
			市内企業・事業者と連携した産業観光ルートの設定	市(商工観光課) 市観光協会 商工会議所 商工会 農商工業者	中期 (3~5年)	<p>【稲沢商工会議所】 ・産業観光資源掘起しチームを立ち上げ、計5回審議した。現在、見学受入可能事業所の選定を行っている。</p> <p>【平和町商工会・農商工業者】 ・へいわさくらまつりの開催に合わせて「明治なるほどファクトリー愛知」の自由見学会を実施し、来場者に桜ネットワークと一緒に巡る観光ルートを提供しようと企画したが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い中止した。</p> <p>【祖父江ぎんなんブランド推進協議会(JA愛知西・市・市観光協会・県・祖父江町商工会・農商工業者)】 ・市内に点在する「祖父江ぎんなん」を使った料理や加工品を提供する店舗を繋げ、地域一体となってPRIに取り組んでいくため、食をテーマに地域活性化と観光需要の拡大に向けた活動を行う地域を支援する。愛知県の「いいともあいち食の街道」制度に申請し、「祖父江ぎんなん街道」として認定を受けた。</p>	<p>【市観光協会・農商工業者】 ・過去に連携実績のある「椿園」、「しょうが屋木村」、「稲沢フルーツ園」など、市内の企業・事業者等と連携して産業観光ルートの創出を図る。</p> <p>【稲沢商工会議所】 ・産業観光の受入可能事業所を決定後、対象を小中高校生と市民に分けて工場見学や体験学習等を行っている。</p> <p>【祖父江町商工会】 ・「祖父江ぎんなん街道」の認定を契機として、ぎんなんを使った菓子、料理を始め、黄金色に染まる景色を楽しんでもらえるように情報発信に努めていく。</p> <p>【平和町商工会・農商工業者】 ・「へいわさくらまつり」の開催に合わせて「明治なるほどファクトリー愛知」の自由見学会について、次年度以降も計画していきたい。</p>
			近隣市町と連携した広域周遊ルートの設定	市(商工観光課) 市観光協会	中期 (3~5年)	<p>【市・市観光協会】 ・愛西市との連携により、勝幡城跡を始めとする両市の信長公ゆかりの地を巡る武将観光ルートを設定した。また、当ルートを活用したバスツアーを企画し、2021年3月20日、21日開催予定の「につぼん城まつり feat.出張！お城EXPO in 愛知」で募集告知を行う。</p> <p>【市観光協会(いなざわ観光まちづくりラボ)】 ・愛知県が主催する「あいち観光まちづくりゼミ」に参加したラボメンバーが他地域の観光関係者と連携し、勝幡城跡を起点として津島市、愛西市、清須市の信長公ゆかりの地を巡るツアー「すべてはここから始まった信長の聖地『勝幡城』と稲沢市、一宮市、美浜町の美術館を巡るツアー「人生100年 尾張の3画家 生き方巡り」を企画した。</p>	<p>【市・市観光協会】 ・美濃路街道連携協議会の加盟自治体や信長公ゆかりの資源を有する近隣市町(愛西市、津島市、清須市など)を始め、本市と共通のテーマ・資源を持つ地域と連携し、新たな広域周遊ルートを創出することで、相乗的な誘客を目指す。</p> <p>【市観光協会(いなざわ観光まちづくりラボ)】 ・愛知県が主催する「あいち観光まちづくりゼミ」で培った他地域とのネットワークを活用し、継続的な広域周遊ルートの創出を目指す。</p>
2	③ 武将観光の推進	<p>◆織田信長の生誕地説が有力である勝幡城を核とし、武将観光イベント等への参加を通じて「(仮称)三英傑の歴史がスタートした地」として本市の魅力国内外に積極的にPRする。</p> <p>◆取り組みに際しては、有識者や歴史文化の保全・PRに取り組む地域の方々、武将観光を推進する愛知県や他自治体とも連携を強化し、事業を推進していく。</p>	武将観光関連イベントへの出展・PR	市(商工観光課) 市観光協会 観光事業者 市民団体	短期 (1~3年)	<p>【市・市観光協会】 ・県内外の武将観光・城郭観光イベントが新型コロナウイルスの影響で相次いで中止となり、「サムライ・ニンジャフェスティバル2020」、「につぼん城まつり feat.出張！お城EXPO in 愛知」への出展のみとなった。</p>	<p>【市・市観光協会】 ・県内外の武将観光・城郭観光イベントに積極的に参加していく。また、観光ガイドBOOK「信長と稲沢」に加え、「勝幡城跡」の御城印販売や勝幡城の復元CG映像を活用しながら、市民や地域の歴史関係者とも連携したインバクトのあるPR活動に取り組んでいく。</p>
			「(仮称)三英傑の歴史がスタートした地」プロモーション事業	市(商工観光課) 市観光協会 観光事業者 市民団体	中期 (3~5年)	<p>【市・市観光協会】 ・11月8日に県営都市公園大高緑地で開催された「サムライ・ニンジャフェスティバル2020」に出展し、「信長公生誕の地・稲沢市」のPR活動を展開した。また、12月19日、20日に横浜で開催された「お城EXPO 2020」において、観光ガイドBOOK「信長と稲沢」の配布を行った(出展なし)。さらに、2021年3月20日、21日開催予定の「につぼん城まつり feat.出張！お城EXPO in 愛知」に愛西市と共同で出展し、「信長と稲沢」の配布や「勝幡城跡」の御城印販売、信長ゆかりの地を巡るバスツアーの募集告知などを行う。</p> <p>【市観光協会】 ・市内の信長公ゆかりの地や観光スポット、飲食店・特産品店を巡る「信長くん育成スタンプラリー」を実施し、「信長公生誕の地・稲沢市」の認知度向上と誘客に繋がった。</p> <p>・「信長公生誕の地・勝幡城」のPR活動に使用する専用法被を作成した。また、「勝幡城跡」の御城印販売のほか、現存しない勝幡城の姿を可視化し、誘客促進ツールとして活用するため、復元CG映像の制作を進めている。</p>	<p>【市・市観光協会】 ・「お城EXPO」を始めとする武将観光・城郭観光イベントへの出展のほか、愛知のお城観光推進協議会への参画を通じて、愛知県や愛知県観光協会、県内市町村と連携したお城観光を推進し、「信長公生誕地・稲沢市」の知名度向上と観光誘客に繋がるプロモーション活動を積極的に展開していく。</p> <p>【市観光協会】 ・「信長公生誕の地・勝幡城」をPRするための販売グッズとして、新たに「信長公武將印」、「勝幡城の縄張り図」の制作に取り組んでいく。</p>

NO.	アクションプラン名	内容	主な取り組み	実施主体	実施計画	2020年度の取組実績・進捗状況 【令和3年2月末時点】	2021年度の取組方針(課題を踏まえて)
			関係機関との連携による武将観光の推進	市(商工観光課) 県 市観光協会 県観光協会 観光事業者	中期 (3~5年)	<p>【市・市観光協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛西市との連携により、「勝幡城跡」を核とする武将観光・お城観光の推進に取り組んだ。 <p>【市・市観光協会・県・県観光協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月8日に県営都市公園大高緑地で開催された県主催のイベント「サムライ・ニンジャフェスティバル2020」に出展し、「信長公生誕の地・稲沢市」のPR活動を展開した。また、愛知のお城観光推進協議会への参画を通じて、12月19日、20日と横浜で開催された「お城EXPO 2020」において、観光ガイドBOOK「信長と稲沢」の配布を行った(出展なし。)。さらに、2021年3月20日、21日開催予定の「にっぽん城まつり feat.出張！お城EXPO in 愛知」に愛西市と共同で出展し、愛知県、愛知県観光協会ほか県内自治体と連携し、勝幡城跡を始め愛知県が誇る城郭のPRを行う。 	<p>【市・市観光協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛西市との連携を深め、両市での御城印販売やPR活動など、勝幡城跡を核とする武将観光・お城観光の取組を更に推進していく。 ・信長公にゆかりのある自治体との関係強化を図る中で、連携した武将観光メニューの創出と将来的な広域連携組織への参画を視野に入れていく。 <p>【市・市観光協会・県・県観光協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内外の武将観光・城郭観光イベントに積極的に参加していく。また、愛知のお城観光推進協議会への参画を通じて、愛知県や愛知県観光協会、関係市町との連携を深め、本市の取組を飛躍させていく。
			武将観光ルートの創出(再掲)	市(商工観光課) 市観光協会	中期 (3~5年)	<p>【市・市観光協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛西市との連携により、勝幡城跡を始めとする両市の信長公ゆかりの地を巡る武将観光ルートを設定した。また、当ルートを活用したバスツアーを企画し、2021年3月20日、21日開催予定の「にっぽん城まつり feat.出張！お城EXPO in 愛知」で募集告知を行う。 <p>【市・市観光協会(いなざわ観光まちづくりラボ)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛知県が主催する「あいち観光まちづくりゼミ」に参加したラボメンバーが他地域の観光関係者と連携し、勝幡城跡を起点として津島市、愛西市、清須市内の信長公ゆかりの地を巡る広域観光ルートを創出した。 <p>【市観光協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内の信長公ゆかりの地や観光スポット、飲食店・特産品店を巡る「信長くん育成スタンプラリー」を実施し、「信長公生誕の地・稲沢市」の認知度向上と誘客に繋がった。 	<p>【市・市観光協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・勝幡城推定復元模型と信長親子像を有する愛西市を始め、津島市、清須市など信長公ゆかりの資源を有する近隣市町と連携した新たな観光ルートを創出することで、相乗的な誘客に繋げていく。 ・観光ガイドBOOK「信長と稲沢」を活用し、市内の信長公ゆかりの地を巡る観光ルートを創出することで、新たな誘客に繋げるとともに、観光客の市内周遊性を高める。 ・愛知のお城観光推進協議会への参画を通じて、愛知県や愛知県観光協会、県内市町村との連携を強化し、新たな武将観光ルートの創出に繋げる。
2	④ 産業観光の推進	<p>◆農商工業に関連する技術や生産地、工業施設など、産業を観光資源として活用し、本市の製品を国内外へPRするとともに、生産者が来訪者と交流することで、産業技術の継承、雇用の確保、新たな製品開発等を促し、地域産業の振興を図る。</p> <p>◆本市の都市イメージとして印象強い「植木産業」をはじめ、本市の地場産業の技術を活用したイベント、伝統技術や最先端の工業技術を活用した体験会・見学会等を観光的側面も含めて実施することで、誘客の促進を図るとともに、本市の優れた製品や技術を国内外にPRする。</p>	見学受入可能施設の掘り起こし	市(商工観光課) 市(農務課) 市観光協会 商工会議所 商工会	短期 (1~3年)	<p>【市・市観光協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「椿園」、「しょうが屋木村」、「内藤醸造」、「稲沢フルーツ園」、「稲沢バラ園」を始め、見学受入可能施設の掘り起こしを行った。 <p>【稲沢商工会議所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業観光資源掘り起こしチームを立ち上げ、計5回審議した。現在、見学受入可能事業所の選定を行っている。 	<p>【市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見学可能な圃場農園を保有しており、受入意思が確認できた場合は、市の関係団体への所属に関わらず市ホームページで公表することを検討する。 <p>【稲沢商工会議所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業観光の受入可能事業所を決定後、対象を小中高生と市民に分けて工場見学や体験学習等を行っている。 <p>【祖父江町商工会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・祖父江町内の大企業を主な対象として、見学受入を働き掛けていく。
			対外的に誇るべき市内企業・事業者の製品や技術に関する情報発信	市(商工観光課) 市(農務課) 市観光協会 商工会議所 商工会	短期 (1~3年)	<p>【稲沢商工会議所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・稲沢市内の事業所が持つ技術の価値や製品の魅力をPRするため、企業と県内大学との情報交換会を開催する。 <p>【祖父江町商工会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金山駅で開催された物産展に商工会員と共に出店し、銀杏と銀杏加工品のPR販売を行った。 <p>【祖父江ぎんなんブランド推進協議会(JA愛知西・市・市観光協会・県・祖父江町商工会・農商工業者)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内に点在する「祖父江ぎんなん」を使った料理や加工品を提供する店舗を繋げ、地域一体となってPRIに取り組んでいくため、食をテーマに地域活性化と観光需要の拡大に向けた活動を行う地域を支援する。愛知県の「いいともあいち食の街道」制度に申請し、「祖父江ぎんなん街道」として認定を受けた。 	<p>【稲沢商工会議所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き企業説明会及び情報交換会を行っていく。 <p>【祖父江町商工会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も市内外の各種イベント・物産展に出店し、市内企業・事業者の持つ製品・技術のPRに努める。 <p>【祖父江ぎんなんブランド推進協議会(JA愛知西・市・市観光協会・県・祖父江町商工会・農商工業者)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協議会のホームページでイベント・販売情報を発信するなど、更なる知名度向上と消費拡大を目指し、地域一体となって「祖父江ぎんなん」の魅力をPRしていく。

NO.	アクションプラン名	内容	主な取り組み	実施主体	実施計画	2020年度の実績・進捗状況 【令和3年2月末時点】	2021年度の実績方針(課題を踏まえて)
			市内企業・事業者と連携した産業観光ルートの設定(再掲)	市(商工観光課) 市観光協会 商工会議所 ・商工会 農工商業者	中期 (3～5年)	<p>【稲沢商工会議所】 ・産業観光資源掘起しチームを立ち上げ、計5回審議した。現在、見学受入可能事業所の選定を行っている。</p> <p>【平和町商工会・農工商業者】 ・へいわさくらまつりの開催に合わせて「明治なるほどファクトリー愛知」の自由見学会を実施し、来場者に桜ネットワークと一緒に巡る観光ルートを提供しようと企画したが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い中止した。</p> <p>【祖父江ぎんなんブランド推進協議会(JA愛知西・市・市観光協会・県・祖父江町商工会・農工商業者)】 ・市内に点在する「祖父江ぎんなん」を使った料理や加工品を提供する店舗を繋ぎ、地域一体となってPRIに取り組んでいくため、食をテーマに地域活性化と観光需要の拡大に向けた活動を行う地域を支援する。愛知県の「いいともあいち食の街道」制度に申請し、「祖父江ぎんなん街道」として認定を受けた。</p>	<p>【市観光協会・農工商業者】 ・過去に連携実績のある「椿園」、「しょうが屋木村」、「稲沢フルーツ園」など、市内の企業・事業者等と連携して産業観光ルートの創出を図る。</p> <p>【稲沢商工会議所】 ・産業観光の受入可能事業所を決定後、対象を小中高校生と市民に分けて工場見学や体験学習等を行っている。</p> <p>【祖父江町商工会】 ・「祖父江ぎんなん街道」の認定を契機として、ぎんなんを使った菓子、料理を始め、黄金色に染まる景色を楽しんでもらえるように情報発信に努めていく。</p> <p>【平和町商工会・農工商業者】 ・「へいわさくらまつり」の開催に合わせて「明治なるほどファクトリー愛知」の自由見学会について、次年度以降も計画していきたい。</p>
			ものづくり体験や収穫体験ができる産業観光メニューの創出	市(商工観光課) 市観光協会 農工商業者	中期 (3～5年)	<p>【市・市観光協会・農工商業者】 ・「椿園」、「しょうが屋木村」、「稲沢フルーツ園」、「稲沢バラ園」と農業体験メニューの創出に向けた情報交換を行った。</p> <p>【市観光協会・農工商業者】 ・「祖父江のイチヨウ黄葉」の時期に、銀杏生産者宅でイチヨウ原木の見学と銀杏試食体験を行う観光メニューを創出し、旅行事業者等に提案した。</p> <p>【稲沢商工会議所】 ・産業観光資源掘起しチームを立ち上げ、計5回審議した。現在、見学受入可能事業所の選定を行っている。</p>	<p>【市・市観光協会】 ・商工会議所・商工会、JA愛知西、ラボメンバー等から見学受入可能施設の情報を収集するとともに、それらの施設に対して体験プランの設定を働き掛けていく。</p> <p>【市・市観光協会・農工商業者】 ・農業体験民泊や農園見学・収穫体験など個々に実施されているものの、観光メニューとして活用されていないコンテンツが市内に潜在しているため、関係事業者への働き掛けや「いなざわ観光まちづくりラボ」との連携協働により、新たなメニューの創出に取り組んでいく。</p> <p>【市・市観光協会・祖父江町商工会・農工商業者】 ・2021年6月にオープン予定の「祖父江ぎんなんパーク」を活用し、ぎんなん収穫体験など、イチヨウ黄葉の見学だけでなく祖父江イチヨウの新たな楽しみ方を提案していく。</p> <p>【稲沢商工会議所】 ・産業観光の受入可能事業所を決定後、対象を小中高校生と市民に分けて工場見学や体験学習等を行っている。</p>
			産業観光メニューに関する情報発信	市(商工観光課) 市観光協会 商工会議所 ・商工会	中期 (3～5年)	<p>【市観光協会】 ・「明治なるほどファクトリー愛知」での工場見学等、コロナ禍の中、見学を休止する施設も多く見られ、十分な情報発信が出来なかった。</p>	<p>【市観光協会】 ・商工会議所、商工会との連携により、産業観光に関する情報収集力を高める。また、ターゲットに応じて、様々な広報媒体を活用した積極的な情報発信に努めていく。</p> <p>【稲沢商工会議所】 ・ホームページ等、様々な媒体を通じて情報発信していく。</p> <p>【祖父江町商工会】 ・商工会のホームページやTwitterなどを有効活用し、情報を随時発信していく。</p> <p>【平和町商工会】 ・情報発信に努めていく。</p>

NO.	アクションプラン名	内容	主な取り組み	実施主体	実施計画	2020年度の取組実績・進捗状況 【令和3年2月末時点】	2021年度の取組方針(課題を踏まえて)
2	⑤ 周辺地域との広域連携の推進による誘客促進	<p>◆愛知県や愛知県観光協会のほか、美濃路・木曾川沿線自治体など本市と共通のテーマ・資源を持つ自治体や観光事業者等との連携により観光ルートの創出やイベント・キャンペーンを開催し、エリアとしての誘客を図る。</p> <p>◆本市の地域資源と周辺市町の地域資源を効果的に組み合わせ、広域的に連携することで国内外からの誘客を促進し、来訪交流人口の拡大による地域経済の活性化につなげる。</p>	広域連携による観光ルートの創出	市(商工観光課) 国・県 市観光協会 県観光協会 観光事業者 交通事業者	中期 (3～5年)	<p>【市・市観光協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛西市との連携により、勝幡城跡を始めとする両市の信長公ゆかりの地を巡る武将観光ルートを設定した。また、当ルートを活用したバスツアーを企画し、2021年3月20日、21日開催予定の「につぼん城まつり feat.出張！お城EXPO in 愛知」で募集告知を行う。 【市観光協会(いなざわ観光まちづくりラボ)】 ・愛知県が主催する「あいち観光まちづくりゼミ」に参加したラボメンバーが他地域の観光関係者と連携し、勝幡城跡を起点として津島市、愛西市、清須市の信長公ゆかりの地を巡るツアー「すべてはここから始まった信長の聖地『勝幡城』」と稲沢市、一宮市、美浜町の美術館を巡るツアー「人生100年 尾張の3画家 生き方巡り」を企画した。 	<p>【市・市観光協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美濃路街道連携協議会の加盟自治体や信長公ゆかりの資源を有する近隣市町(愛西市、津島市、清須市など)を始め、本市と共通のテーマ・資源を持つ地域と連携し、新たな広域周遊ルートを創出することで、相乗的な誘客を目指す。 ・愛知のお城観光推進協議会への参画を通じて、愛知県や愛知県観光協会、県内市町村との連携を強化し、新たな武将観光ルートの創出に繋げる。 【市観光協会(いなざわ観光まちづくりラボ)】 ・愛知県が主催する「あいち観光まちづくりゼミ」で培った他地域とのネットワークを活用し、継続的な広域周遊ルートの創出を目指す。
			広域観光組織及び協議体への参画	市(商工観光課) 市観光協会	長期 (5年以上)	<p>【市・市観光協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美濃路稲葉宿本陣跡ひろばがオープンした今年度は、本市が美濃路街道連携協議会の幹事市として街道観光事業を展開する予定だったが、新型コロナウイルスの影響で翌年度に延期されることとなった ・街道観光ガイドブック「時を旅する 愛知の街道」への掲載など、愛知県街道観光推進協議会への参画を通じて、「美濃路稲葉宿本陣跡ひろば」を始めとする市内の美濃路エリアの魅力を県内外に広く発信した。 ・愛知・名古屋観光誘客協議会への参画を通じて、旅行事業者に「祖父江のイチヨウ黄葉」を始めとする稲沢市の観光素材を活用した特別企画等を提案した。また、同協議会が主催する観光商談会(オンライン)に参加し、旅行事業者に本市の企画を組み入れた旅行商品の造成を働き掛けた。 ・愛知のお城観光推進協議会への参画を通じて、12月19日、20日と横浜で開催された「お城EXPO 2020」において、観光ガイドBOOK「信長と稲沢」の配布を行った(出展なし。)。また、2021年3月20日、21日開催予定の「につぼん城まつり feat.出張！お城EXPO in 愛知」に愛西市と共同で出展し、愛知県、愛知県観光協会ほか県内自治体と連携し、「勝幡城跡」を始め愛知県が誇る城郭のPRを行う。 	<p>【市・市観光協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2021年度も本市が美濃路街道連携協議会の幹事市を務める。地域及び関係市町との連携の下、美濃路パネル展や美濃路街道交流物産展、美濃路ウォーク等の街道観光事業を展開していく。また、これらの事業を愛知県街道観光推進協議会を通じて、県内外に広く発信していく。 ・愛知・名古屋観光誘客協議会への参画を通じて、愛知県、愛知県観光協会、運輸機関(鉄道会社等)との連携によりPR・プロモーションや周遊促進施策を効果的に展開し、本市への更なる観光誘客に繋げていく。 ・愛知のお城観光推進協議会への参画を通じて、愛知県や愛知県観光協会、県内市町村と連携したお城観光を推進し、「信長公生誕地・稲沢市」の知名度向上と観光誘客に繋がるプロモーション活動を積極的に展開していく。 ・信長公にゆかりのある自治体との関係強化を図る中で、連携した武将観光メニューの創出と将来的な広域連携組織への参画を視野に入れていく。
2	⑥ 寺社との連携強化による文化財の活用	◆文化財の活用に向けて、文化財所有者で組織する連絡協議会、行政及びボランティアガイドの団体による連絡協議会を開催し、公開に向けた方策を検討する。	文化財の活用に関する協議体による検討	市(生涯学習課) 市観光協会 寺社 市民団体	短期 (1～3年)	【市・寺社】 ・長福寺において文化財公開デーの開催を予定したが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い中止した。	<p>【市・寺社・市民団体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化財所有者及びボランティア団体との連携により文化財公開デーを開催し、活用を図っていく。 【市観光協会・寺社】 ・2022年春に延期された善光寺東海別院の7年に一度の御開帳に向けて、全国各地からの来訪者を受け入れ、おもてなしができるよう、連携協力しながらプロモーション活動を展開していく。
2	⑦ サリオパーク祖父江を核とした体験型観光の推進	◆毎年多くの賑わいと交流が生み出されている稲沢夏まつり、稲沢サンドフェスタや東海シクロクロス大会、絶滅危惧種の野鳥類をはじめ貴重な生物の生息観察ができる環境学習会(自然観察会)などの催しをさらに磨き上げるとともに、国・県との連携の下、ウインドサーフィンや水上バイク、サップヨガなどの水上スポーツ、バーベキューや砂丘を活用した体験型イベントなど、サリオパーク祖父江の特色を活かした「ここでしかできない」自然体験型の観光メニューを創出し、年間を通じた集客へとつなげていく。	サリオパーク祖父江と善光寺東海別院等の周辺施設を組み合わせた観光ルートの設定(再掲)	市(商工観光課) 市観光協会	短期 (1～3年)	未実施	【市観光協会】 ・5月上旬に見頃を迎えるサリオパーク祖父江近隣にある王子板紙工場外周のツツジ(稲沢市景観地50選の一つ)やサリオパーク、善光寺東海別院、祖父江ふれあいの郷(天然温泉)などを巡るモデルルートを創出し、2022年春に延期された善光寺東海別院の御開帳期間にツアーが実施できるよう旅行業者に提案していく。
			環境学習会(自然観察会)の開催	市(環境保全課) 国	短期 (1～3年)	【市】 ・5月23日に自然観察会(植物及び昆虫の観察)を開催予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い中止した。また、7月18日にも開催予定であったが、台風による木曾川増水に伴い中止した。	【市】 ・2021年5月22日、7月17日に自然観察会(植物及び昆虫の観察)を開催予定。開催時間は午前9時～11時。

NO.	アクションプラン名	内容	主な取り組み	実施主体	実施計画	2020年度の取組実績・進捗状況 【令和3年2月末時点】	2021年度の取組方針(課題を踏まえて)
			サリオパーク祖父江の特色を活かした体験型観光メニューの創出	市(商工観光課) 市(都市整備課) 国・県 市観光協会	短期 (1~3年)	<p>【市・市観光協会・市民団体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サリオパーク祖父江で実施されているSUP、SUPヨガ、ウインドサーフィンなどのアクティビティ体験について、2021年度からの新たな観光メニューとして活用できるよう関係者と連携して準備を進めた。 <p>【市・国・県・市民団体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サリオパーク祖父江の活性化、年間を通じた誘客に向けて、「サリオパーク祖父江イベント実行委員会」を中心に、当地の特色を活かした多様なイベントを企画したが、新型コロナウイルスの影響により春、夏のイベントは中止、秋のイベントも縮小開催となった。 <p>【市民団体(いなざわ観光まちづくりラボ)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ラボメンバーが所属する団体「mizube38」が中心となり、7月25日、26日に日本唯一の河畔砂浜ビーチで夏を楽しむイベント「IMAKAI BEACH FESTIVAL 2020」の開催を計画していたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い中止となった。 	<p>【市・市観光協会・市民団体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サリオパーク祖父江でのアクティビティ体験について、観光メニューとしての活用を図り、商品化に繋げる。また、流通ルートを開拓し、若者やファミリー層を主要なターゲットとして誘客を図る。加えて、「いなざわ観光まちづくりラボ」との協働により、新たなメニューの創出にも取り組んでいく。 <p>【市・国・県・市民団体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「サリオパーク祖父江イベント実行委員会」を中心に、3公園の特色を活かした多様なイベント企画を通年で展開していく。
			サリオパーク祖父江における適切な公園機能の充実と周辺道路の整備	市(都市整備課) 国・県	中期 (3~5年)	<p>【市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用地買収契約締結、一部工事施工中。 ・道路整備に合わせた3公園の一体利用の促進に向けて、祖父江3公園整備運営協議会で協議を進めている。 	<p>【市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間用地買収完了、一部工事施工を予定。 ・道路整備に合わせた3公園の一体利用の促進に向けて、祖父江3公園整備運営協議会で引き続き協議していく。
2	⑧	”農”を活用した体験型観光メニューの創出	<p>◆「祖父江ぎんなん」のさらなるブランド力の向上を目指して、代表4品種である「久寿」「藤九郎」「栄神」及び「金兵衛」の保全を行い、広く銀杏を県内外にPRする場となる「(仮称)イチョウ見本園」を整備し、来訪者にそぶえイチョウ黄葉まつりと合わせて回遊してもらうなど、新たな市内名所として活用する。</p> <p>◆地域との連携により、田植え・稲刈り等の農業体験や自然環境学習が行える“農”を活用した体験型メニューの創出に取り組むとともに、市内外の方が気軽に参加できる農業体験農園を開設しようとする農業者、民間企業等の発掘にも努める。</p>	<p>地域と連携した農業体験メニューの創出</p> <p>市(商工観光課) 市(農務課) 市(環境保全課) 市観光協会 農商工業者 市民団体</p> <p>農業体験農園の整備、農業体験の場の提供</p> <p>市(農務課) JA 農商工業者</p>	<p>短期 (1~3年)</p> <p>短期 (1~3年)</p>	<p>【市・市観光協会・農商工業者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「椿園」、「しょうが屋木村」、「稲沢フルーツ園」、「稲沢バラ園」と農業体験メニューの創出に向けた情報交換を行った。 <p>【市・市民団体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NPO法人祖父江のホタルを守る会の実験田で、8月23日、10月3日、10月25日の計3回自然観察会を実施し、延べ132名の参加があった。なお、6月13日にも同場所で自然観察会を予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い中止した。 <p>【市観光協会・農商工業者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「祖父江のイチョウ黄葉」の時期に、銀杏生産者宅でイチョウ原木の見学と銀杏試食体験を行う観光メニューを創出し、旅行事業者に提案した。 <p>【市・JA愛知西】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JA愛知西・一宮市・稲沢市の共同運営による「はつらつ農業塾」を実施した(新型コロナウイルスの感染拡大に伴う休止期間あり)。 	<p>【市・市観光協会・農商工業者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業体験民泊や農園見学・収穫体験など個々に実施されているものの、観光メニューとして活用されていないコンテンツが市内に潜在しているため、関係事業者への働きかけや「いなざわ観光まちづくりラボ」との連携協働により、新たなメニューの創出に取り組んでいく。 <p>【市・市観光協会・祖父江町商工会・農商工業者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2021年6月にオープン予定の「祖父江ぎんなんパーク」を活用し、ぎんなん収穫体験など、イチョウ黄葉の見学だけでなく祖父江イチョウの新たな楽しみ方を提案していく。 <p>【市・市民団体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NPO法人祖父江のホタルを守る会の実験田で2021年6月12日、8月21日、10月2日、10月23日の計4回自然観察会を開催予定。 <p>【市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民農園や農業体験農園等の現状把握及び今後開設しようとする農業者の発掘に努める。また、既に取組を実施している農業者団体に対しては、受入れの意思がある場合、市民向け広報を中心に活動を支援していく。 <p>【市・市観光協会・祖父江町商工会・農商工業者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2021年6月にオープン予定の「祖父江ぎんなんパーク」において、ぎんなん収穫体験の場を提供していく。 <p>【市・JA愛知西】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JA愛知西・一宮市・稲沢市の共同運営による「はつらつ農業塾」運営協議会を開催し、今後の運営方法について協議していく。

NO.	アクションプラン名	内容	主な取り組み	実施主体	実施計画	2020年度の取組実績・進捗状況 【令和3年2月末時点】	2021年度の取組方針(課題を踏まえて)
			植木・苗木、祖父江ぎんなん等の農産品の販売拡充	市(農務課) 市観光協会 商工会 JA 農商工業者	短期 (1~3年)	<p>【市・農商工業者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの感染拡大に伴い近隣市町村で行われる多くのイベントが中止となったが、一宮市で行われた祭りにおいて、稲沢の苗木を入学記念樹として配布しPRした。また、「植木のまち・稲沢市」を明記したラベル(値札)を作成し、植木生産者に使用してもらうことで植木産業のPRに繋げた。 <p>【市観光協会・農商工業者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響で祭り・イベントの開催に限られる中、プロバレーボール等の試合会場である豊田合成体育館(エントリオ)、「いなざわ観光まちづくりラボ」主催のイベント「新型コロナ退散 稲沢市民大太鼓」と「季節を運ぶ手造り小物 季節の詩 ワンコインチャリティ」の会場でも市内の農産品販売を行った。また、「いなざわ梅まつり」の会場でも販売ブースを設ける。 <p>【祖父江町商工会・農商工業者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「そぶえいちょう黄葉まつり」は中止となったが、一部の生産者が軒先などを利用して、県内外から訪れた黄葉鑑賞者に対して銀杏の直売を実施した。また、金山駅で開催された物産展に商工会員と共に出店し、銀杏と銀杏加工品のPR販売を行った。 <p>【JA愛知西】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月開催のJA感謝祭で「祖父江ぎんなん」の販売を予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い中止した。 ・GOTOトラベルキャンペーン事業を活用し、三重県伊勢志摩地域のホテルと連携して、「祖父江ぎんなん」と海の幸を満喫する旅行企画を提供した。 <ul style="list-style-type: none"> ・「祖父江ぎんなん」の保存方法や食べ頃を記載したリーフレットを通信販売やイベント販売時に活用した。 ・農産物出荷者を増やすため、生産者に産直施設のメリットをPRした。 <p>【祖父江ぎんなんブランド推進協議会(JA愛知西・市・市観光協会・県・祖父江町商工会・農商工業者)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内に点在する「祖父江ぎんなん」を使った料理や加工品を提供する店舗をつなげ、地域一体となってPRに取り組んでいくため、食をテーマに地域活性化と観光需要の拡大に向けた活動を行う地域を支援する、県の「いいともあいち食の街道」制度に申請した結果、「祖父江ぎんなん街道」として認定を受けた。 ・「祖父江ぎんなん」を県内外に広くPRするための宣伝販売活動を予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて自粛した。 	<p>【市・市観光協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内外の観光イベントや観光物産展において、「祖父江のイチヨウ黄葉」のPRと合わせて銀杏販売を実施していく。 <p>【市・農商工業者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市外のまつりにも引き続き出店し、植木・苗木の販売拡充に繋げていく。 <p>【祖父江町商工会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「そぶえいちょう黄葉まつり」で今後も銀杏販売を実施していく。 <p>【JA愛知西】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JA地産地消まつりで「祖父江ぎんなん」の販売を行うとともに、各産直広場で銀杏の販売促進を図っていく。 <ul style="list-style-type: none"> ・「祖父江ぎんなん」の保存方法や食べ頃を記載したリーフレットを通信販売やイベント販売時に継続活用していく。 ・農産物出荷者を増やすため、生産者に産直施設のメリットを引き続きPRするとともに、軒先集荷を検討していく。 <p>【祖父江ぎんなんブランド推進協議会(JA愛知西・市・市観光協会・県・祖父江町商工会・農商工業者)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協議会のホームページでイベント・販売情報を発信するなど、更なる知名度向上と消費拡大を目指し、地域一体となって「祖父江ぎんなん」の魅力PRしていく。
			「(仮称)イチヨウ見本園」整備事業	市(農務課) 県 市観光協会 商工会 JA 農商工業者	中期 (3~5年)	<p>【市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「(仮称)イチヨウ見本園」の名称が正式に「祖父江ぎんなんパーク」に決定。2021年6月の供用開始に向けて整備を進めている。 	<p>【市・市観光協会・祖父江町商工会・JA愛知西・農商工業者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2021年6月の供用開始に向けて「祖父江ぎんなんパーク」の整備を引き続き進める。オープン後は、祖父江ぎんなんブランドの更なる向上とともに、「そぶえいちょう黄葉まつり」の会場活用を始め「銀杏・歴史・健康」などをテーマに幅広い世代の人々が訪れ、多彩な交流が図れる拠点づくりを目指す。 <p>【市・市観光協会・祖父江町商工会・農商工業者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「祖父江ぎんなんパーク」を活用し、ぎんなん収穫体験など、イチヨウ黄葉の見学だけでなく祖父江イチヨウの新たな楽しみ方を提案していく。

NO.	アクションプラン名	内容	主な取り組み	実施主体	実施計画	2020年度の取組実績・進捗状況 【令和3年2月末時点】	2021年度の取組方針(課題を踏まえて)
2	⑨ 健康づくりと運動したまち歩きの推進	<p>◆健康づくり用のスマートフォンアプリ、観光ガイドブックとウォーキングマップが一体となったマップを作成し、まち歩きに活用してもらうことで、健康寿命の延伸と健康格差の縮小を図るとともに、来訪者による市内周遊性の向上と地域の魅力発見につなげ、ウェルネスツーリズムをコンセプトとした新たな事業展開を目指す。</p> <p>◆アプリを活用したウォーキングポイント制度として、ウォーキングに参加することでポイントが加算され、貯まったポイントと引き換えに特産品等の景品を贈呈する取り組みを検討する。</p>	健康づくりアプリ・ウォーキングマップの作成	市(健康推進課) 市観光協会	短期 (1~3年)	【市観光協会】 ・稲葉宿を始めとする市内の美濃路エリアの魅力紹介とウォーキングマップが一体となった「(仮称)美濃路マップ」の作成を「いなざわ観光まちづくりラボ」メンバーとの協働により進めている。	【市】 ・稲沢市観光ガイドブックや「るるぶ特別編集稲沢市」、「(仮称)美濃路マップ」といった観光パンフレットを活用してウォーキングに取り組めるよう啓発していく。
			ウォーキングポイント制度の検討	市(健康推進課) 商工会議所 商工会 農商工業者	短期 (1~3年)	未実施	【祖父江町商工会】 ・実施に向けて調査研究を行う。
			ウェルネスツーリズム事業	市(健康推進課) 市観光協会 商工会議所 商工会 観光事業者 交通事業者 農商工業者	中期 (3~5年)	【市】 ・新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、美濃路ウォーク実行委員会による「美濃路ウォーク」や「いきいきいなざわ健康秋フェスタ」におけるウォーキングイベントが中止となった。 【市観光協会・交通事業者】 ・JR東海や名古屋鉄道に対してハイキングの実施を提案し、6月に稲沢あじさいまつり会場を通るJRさわやかウォーキング、9月に名鉄ハイキングを企画していたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、いずれも中止となった。 【祖父江町商工会】 ・通年型のツーリズム事業として、新緑期・黄葉期のイチョウを巡るセラピーウォーキングを計画したが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い中止した。	【市】 ・ウォーキングイベント開催の際、稲沢市観光ガイドブックや「るるぶ特別編集稲沢市」、「(仮称)美濃路マップ」といった観光パンフレットを活用し、地域の魅力を発見できる機会を増やしていく。 【市・市観光協会】 ・2021年度は本市が美濃路街道連携協議会の幹事市となることから、ウォーキング団体及び関係市町との連携の下、「美濃路ウォーク」を実施する。 【市観光協会】 ・市と協力して観光地点を巡る魅力的なウォーキングコースの設定等を行い、まち歩きの促進を図る。 【祖父江町商工会】 ・今後も各種ウォーキングイベントの広報に注力し、参加者の増加を目指していく。
2	⑩ 荻須記念美術館の魅力向上	<p>◆本市が輩出した荻須高德画伯を顕彰する美術館をシンボルとして芸術文化の振興を図る。</p> <p>◆荻須画伯に関する作品、資料のさらなる収集に努め、特別展・企画展を開催することで鑑賞の機会を提供し、市内外からの幅広い集客を図る。</p> <p>◆市内の大学等と連携し、体験型イベントをはじめ、美術館の魅力向上と集客につながる事業を展開していく。</p>	特別展・企画展の開催	市(美術館)	短期 (1~3年)	【市】 ・10月24日から12月6日までを会期とし、特別展「牛島憲之展 府中市美術館コレクション」を実施した。 (会期中入場者数:2,143人)	【市】 ・荻須高德の生誕120年を記念し、「生誕120年記念 荻須高德展 ー私のパリ、パリの私ー」を開催する。 <会期:2021年10月23日~12月19日>
			稲沢市美術館大学パートナーシップ事業	市(美術館) 大学	短期 (1~3年)	【市・大学】 ・特別展に関連した連携事業を市内各大学と実施した。 <名古屋文理大学> 「アート&コンサート」 11月15日に特別展鑑賞と合わせ、「耳で聴く絵画」をテーマにしたトーク(講師:名古屋文理大学教授・粟林芳彦氏)と絵画的な情景をイメージさせる楽曲によるミニコンサート(一般財団法人稲沢市文化振興財団出張演奏会)を楽しんでいただく企画を実施。 <愛知文教女子短期大学> 「美術館で着物を楽しむ エスプリ・ドゥ・ナチュール」 11月27日に着物を着て特別展を鑑賞し、市内の飲食店で特別メニューによるランチを楽しんでいただく企画を実施。	【市・大学】 ・大学との連携をさらに深め、魅力ある美術館大学パートナーシップ事業を展開することで、集客力の向上に繋げていく。
2	⑪ 四季の地域資源を活用したまつり・イベントの開催	<p>◆国府宮はだか祭、さくらまつり、植木まつり、あじさいまつり、サンドフェスタ、イチョウ黄葉まつりなど、季節や地域の魅力を伝えることができる祭り・イベントを持続的に開催できるよう支援を行っていく。</p> <p>◆これらの既存イベントに加え、特産品を活用した食のイベントや体験型イベントなど、地域の魅力をつなぎ、来訪者が気軽に楽しめる新たなイベントを地域とともに創出し、来訪者の増加を図る。</p>	稲沢桜まつり・へいわさくらまつり	商工会議所 商工会	短期 (1~3年)	【稲沢商工会議所】 ・4月4日に国府宮参道で開催予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い中止した。 【平和町商工会】 ・4月4日に稲沢市平和町体育館及びその周辺で開催予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い中止した。	【稲沢商工会議所】 ・2021年4月3日に国府宮参道で開催予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、中止が決定している。 【平和町商工会】 ・2021年4月3日に稲沢市平和町体育館及びその周辺で開催予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、中止が決定している。
			いなざわ植木まつり	市(農務課)	短期 (1~3年)	【市】 ・4月20日から29日まで国府宮参道で開催予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い中止した。	【市】 ・2021年4月20日から29日まで国府宮参道で開催予定。植木苗木の即売をメインとしつつ、線に親しむ祭りとして幅広い世代の方に来場していただけるよう、各種イベントを検討していく。
			稲沢あじさいまつり	市(商工観光課)	短期 (1~3年)	【市】 ・6月1日から14日まで大塚性海寺歴史公園及び性海寺で開催予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い中止した。なお、現地へ訪れるアジサイ観賞者に向けて感染防止対策の徹底を呼び掛けるとともに、臨時駐車場や案内看板の設置、警備員の配置等を行い、受入環境の整備に努めた。(6/1~14の来訪観賞者数:18,000人)	【市】 ・2021年6月1日から20日まで大塚性海寺歴史公園及び性海寺で開催予定。次年度は、密になる恐れがあるイベント等を無くし、園内の美しい風景づくりに焦点を当てて取り組んでいく。また、来場者からの要望に応え、会場周辺の飲食店マップを作成する。

NO.	アクションプラン名	内容	主な取り組み	実施主体	実施計画	2020年度の取組実績・進捗状況 【令和3年2月末時点】	2021年度の取組方針(課題を踏まえて)
			稲沢夏まつり	市民団体	短期 (1～3年)	【稲沢夏まつり実行委員会】 ・8月30日にサリオパーク祖父江で開催予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い中止した。	【稲沢夏まつり実行委員会】 ・2021年8月末にサリオパーク祖父江で開催予定。
			稲沢サンドフェスタ	市(都市整備課)	短期 (1～3年)	【市】 ・新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、密が危惧されるイベントは全て中止し、10月10日から11月3日までの間、砂の造形展のみを開催した。 (期間中來場者数:25,322人)	【市】 ・2021年10月9日、10日にサリオパーク祖父江で開催予定。次年度は、飲食店とイベントの見直しにより、集客と満足度の維持に努めていく。
			稲沢まつり	商工会議所	短期 (1～3年)	【稲沢商工会議所】 ・10月17日、18日に国府宮参道、稲沢中学校、名古屋文理大学文化フォーラムほかで開催予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い中止した。	【稲沢商工会議所】 ・2021年10月16日、17日に国府宮参道、稲沢中学校、名古屋文理大学文化フォーラムほかで開催予定。次年度は、既存イベントの見直しに取り組んでいく。
			そぶえいちょう黄葉まつり	商工会	短期 (1～3年)	【祖父江町商工会】 ・11月21日から11月29日までの間、祐専寺周辺及び祖父江町体育館での開催を計画していたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い中止した。なお、現地へ訪れる黄葉観賞者に向けて感染防止対策の徹底を呼び掛けるとともに、臨時駐車場、仮設トイレ、案内看板の設置、警備員の配置、黄葉情報の発信等を行い、受入環境の整備に努めた。 (11/21～29の來訪鑑賞者数:70,000人) 【市観光協会】 ・「そぶえいちょう黄葉まつり」は中止となったが、関東方面の旅行事業者を中心に「祖父江のイチョウ黄葉」に対する現地ガイドの要請が多数寄せられたため、団体ツアー客の受入を行った。 (バスツアー受入数:7件120名)	【祖父江町商工会】 ・2021年度は、新たにオープンする「祖父江ぎんなんパーク」及び祐専寺周辺で開催予定。來場者の更なる増加を目指したイベントづくりを行っている。 【市観光協会】 ・「そぶえいちょう黄葉まつり」の開催期間中にバスツアーで訪れる旅行者に対して、「祖父江のイチョウ黄葉」の魅力をしっかり伝えるため、ガイド案内を始めとする受入体制の充実にも努めていく。また、新たにオープンする「祖父江ぎんなんパーク」の活用にも繋がるよう、ツアー客以外も対象としたガイド体制の構築に取り組んでいく。
			国府宮はだか祭	寺社	短期 (1～3年)	【尾張大國霊神社(国府宮)】 ・2021年2月24日に尾張大國霊神社(国府宮)で雑遊神事を開催。新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、下帯姿(はだか)でのなおい笹奉納、裸男のみみあいを中止し、神男厄払い行列を挙行了した。	【尾張大國霊神社(国府宮)】 ・2022年2月13日に尾張大國霊神社(国府宮)で開催予定。
			いなざわ梅まつり	市観光協会	短期 (1～3年)	【市観光協会】 ・2021年3月6日・7日に愛知県植木センターで開催する。新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、集客力の高いステージイベント等の催し物や飲食を中止し、梅の花の観賞を中心に楽しんでいただけるよう規模を縮小して開催する。	【市観光協会】 ・2022年3月上旬に愛知県植木センターで開催予定。ラボメンバーとも連携し、イベントの開催に合わせて周辺の観光スポットも楽しめる企画を設定する。
			既存イベントにおける連携強化(再掲)	市(商工観光課) 市観光協会 商工会議所 商工会 市民団体 大学	短期 (1～3年)	【市・市観光協会・商工会議所・商工会・市民団体】 ・愛知県から示されたイベント実施方針を始め、コロナ禍におけるイベントの開催方法、感染防止策について、主催者間で情報共有に努めた。 【市観光協会】 ・2021年3月6日、7日開催の「いなざわ梅まつり」において、関係団体との連携の下、特産品販売や「尾張国分寺跡ウォーキングツアー」、「やわせてくくウォーキング」など、地域の魅力を再発見していただく取組を実施する。 【祖父江町商工会】 ・「そぶえいちょう黄葉まつり」は中止となったが、イチョウ黄葉の観賞に訪れた方に向けて、地元飲食店及び土産・特産品店の一覧表と地図を商工会のホームページに掲載し、PRに努めた。なお、来年度に向けて各店舗の提供情報を充実させるため、希望する店舗の紹介ページを年度内に作成し、掲載していく。 【稲沢イルミネーション実行委員会(いなざわ観光まちづくりラボ)】 ・「稲沢イルミネーション」(11月28日～12月25日開催)において、市内の大学や活動団体等と連携し、オンライン点灯式や「すまいるムービー」プロジェクト、医療従事者に感謝と応援メッセージを届ける「稲沢ブルーライトアッププロジェクト」や「星川楽器 マラソンコンサート」を実施するなど、新型コロナウイルスの影響で落ち込んでいる地域に元気を取り戻すための取組を行った。	【市・市観光協会・商工会議所・商工会・市民団体】 ・引き続き祭り・イベント間での情報共有を図り、連携した情報発信に努めることで、年間を通じた観光誘客に繋げていく。 【市観光協会】 ・オンラインでの展開を含め、コロナ禍でも連携して取り組んでいけるイベントを検討していく。 【祖父江町商工会】 ・今後も「そぶえいちょう黄葉まつり」と連携した事業を、各種補助金制度を活用しながら展開し、自然・産業を始めとする稲沢市の資源のPRに努めていく。 【稲沢イルミネーション実行委員会(いなざわ観光まちづくりラボ)】 ・今後も市内で活動する団体等と幅広く連携を取りながら、魅力あふれるイベント企画を展開していく。

NO.	アクションプラン名	内容	主な取り組み	実施主体	実施計画	2020年度の取組実績・進捗状況 【令和3年2月末時点】	2021年度の取組方針(課題を踏まえて)
			地域が主体となったイベントの開催	市(商工観光課) 市観光協会 商工会議所 商工会 農商工業者 市民団体 大学	中期 (3~5年)	<p>【市・大学】 ・愛知文教女子短期大学と市が連携し、地域資源である美濃路の現在・過去・未来を探り、その魅力を観光にどう活かすかを考えるイベント「稲沢再発見シンポジウム美濃路稲葉宿本陣跡ひろばで歴史を語る」を11月3日に美濃路稲葉宿本陣跡ひろばで開催した。当日は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い一般来場を控えていただくようお願いし、その代替措置として現地からのオンライン生配信を行った。</p> <p>【稲沢イルミネーション実行委員会(いなざわ観光まちづくりラボ)】 ・いなざわ観光まちづくりラボのメンバーと市内の活動団体、大学、企業、行政等が連携し、「稲沢イルミネーション」を11月28日から12月25日までの間、国府宮駅～国府宮参道、文化の丘公園で開催した。(期間中來場者数:12,000人)</p> <p>【市観光協会(いなざわ観光まちづくりラボ)】 ・ラボ主催で「新型コロナ退散 稲沢市民大太鼓」、「季節を運ぶ手作り小物 四季の詩 ワンコインチャリティ」、「やわせ！ てくてくウォーキング♪」(3月7日予定)を開催した。</p> <p>【市民団体(いなざわ観光まちづくりラボ)】 ・ラボメンバーが所属する団体「mizube38」が中心となり、7月25日、26日に日本唯一の河畔砂浜ビーチで夏を楽しむイベント「MAKAI BEACH FESTIVAL 2020」の開催を計画していたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い中止となった。</p>	<p>【稲沢イルミネーション実行委員会(いなざわ観光まちづくりラボ)】 ・2021年11月中旬から12月下旬にかけて国府宮参道を中心に稲沢イルミネーションを開催予定。</p> <p>【市観光協会】 ・いなざわ観光まちづくりラボが主体となって企画したイベントの開催支援に努めていく。</p> <p>【稲沢商工会議所】 ・商店街と連携して観光振興に努める。</p> <p>【祖父江町商工会】 ・来年度以降も地域が主体となったイベントが実施できるよう、活用できる補助金を探すなど、地域の活性化を目指していく。</p> <p>【平和町商工会】 ・市等の関係団体に加え、まちづくり推進協議会とも協議し、地域特有の新たなイベントの創出を検討していく。</p>
2	⑫ 観光行動及び交流活動の推進	<p>◆「(仮称)いなざわお祭りスタンプラリー」を実施し、スタンプを集めた参加者には市内飲食店で使える食べ歩きクーポンやいなッピーグッズをプレゼントするなど、市内で開催されている祭り・イベントを周年でつなぐ仕組みを構築する。</p> <p>◆将来的にはスマートフォンアプリ等の活用を視野に入れて展開していくこととし、収集したデータは市内観光客の周遊データ分析に活用することで、次なる観光施策の推進につなげていく。</p>	<p>「(仮称)いなざわお祭りスタンプラリー」の実施</p> <p>スマートフォンアプリ等の活用と市内観光客の動向分析</p>	市(商工観光課) 市(農務課) 市(都市整備課) 市観光協会 商工会議所 商工会 観光事業者 交通事業者 農商工業者 市民団体	中期(3~5年)	<p>【市観光協会】 ・新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、主要な祭り・イベントが中止となる中、スマートフォンを活用し、市内の信長公ゆかりの地や観光スポット、飲食店・特産品店を巡る「信長くん育成スタンプラリー」を実施した。</p> <p>【市・市観光協会】 ・「信長くん育成スタンプラリー」の参加者にオンラインアンケート調査を実施し、市内動向の分析を行った。</p>	<p>【市・市観光協会】 ・美濃路散策スタンプラリーの実施を検討していく。</p> <p>【市・市観光協会・商工会議所・商工会・市民団体】 ・関係団体から意見を聴取するなど、「(仮称)いなざわお祭りスタンプラリー」の具体化に向けた調整を進めていく。</p> <p>【市・市観光協会】 ・スマートフォンを活用したスタンプラリー等により、来訪者の動向分析を継続的にを行い、新たな観光事業の企画立案に活かしていく。</p>
基本方針3 観光を活用した地域経済が潤う仕組みの構築							
3	① 観光資源の価値と理解を深めるプロモーションの強化	<p>◆利用者が必要な情報を入手しやすいように観光情報を集約するための「観光ポータルサイト」を開設するほか、SNSをはじめとする新たなコミュニケーションツールを活用し、双方向の情報共有が可能な仕組みの構築を検討する。</p> <p>◆マスメディア、ケーブルテレビやタウン誌などの地域メディアとの連携を強化するとともに、フィルムコミッション事業を推進する。</p> <p>◆本市の魅力を広くPRするためのツールとして、市内外を問わず高い認知度を誇り、幅広い年代層から人気がある稲沢市公式マスコットキャラクター「いなッピー」や稲沢市観光PR大使、稲沢市キャンペーン・レディーを積極的に活用するほか、愛知県や愛知県観光協会をはじめとする関係機関・団体、大型商業施設や交通事業者等と連携した観光プロモーションを展開していく。</p> <p>◆本市への来訪意欲と消費意欲を喚起に向けて、今後ファンづくりとリピーターづくりが必要となるため、観光資源のブランディングにより本市の価値と魅力を高め、それに共感する人々を的確にターゲットとする戦略的な観光プロモーションを稲沢市観光協会を中心に取り組んでいく。</p>	SNS等の新たなコミュニケーションツールを活用した情報発信	市(商工観光課) 市観光協会 市民個人 ほか	短期 (1~3年)	<p>【市観光協会】 ・「稲沢あじさいまつり」は中止となったが、稲沢市キャンペーン・レディーが「性海寺のアジサイ」や市内の魅力スポットを紹介する動画を作成し、市観光協会の公式Webサイト及びYouTube上で配信した。</p> <p>・新型コロナウイルスの感染拡大に伴い市内各地区の夏祭りが中止となる中、市民からの「盆踊りを踊りたい」との声に応え、家族や友達と一緒に踊っている様子を動画撮影し、Webサイト上に公開して皆で楽しむ企画「おうちで盆踊り♪」を実施した。</p> <p>・市民と共に稲沢市の魅力を発信するInstagram投稿キャンペーン「(仮称)いいね！いなざわ 稲沢の魅力再発見」の実施に向けて準備を進めている。</p> <p>【祖父江町商工会】 ・「そぶえいちょう黄葉まつり」は中止となったが、現地へ訪れる黄葉観賞者に向けて、商工会のTwitterや「そぶえいちょう黄葉まつり実行委員会」の公式Webサイト上で黄葉状況等をリアルタイムで発信した。</p> <p>【稲沢イルミネーション実行委員会(いなざわ観光まちづくりラボ)】 ・TwitterとInstagramを活用し、イベントの情報をリアルタイムで発信した。</p>	<p>【市】 ・各祭り・イベントにおいて、開催の目的や内容、ターゲットとする来場者に応じた最適なSNSを活用し、効果的かつリアルタイムな情報発信によって、誘客に繋げていく。</p> <p>【市観光協会】 ・Instagramでの投稿キャンペーン等、SNSを導入し活用することで、公式サイト等と連動した効果的かつリアルタイムな情報発信を推進し、稲沢市の観光情報への訴求力を高める。</p> <p>【祖父江町商工会】 ・商工会のホームページ、Twitter及び「そぶえいちょう黄葉まつり」の公式Webサイトを活用して、祖父江のイチョウ黄葉や銀杏に関する情報を随時発信していく。</p> <p>【稲沢夏まつり実行委員会・稲沢イルミネーション実行委員会(いなざわ観光まちづくりラボ)】 ・FacebookやTwitter、Instagramを活用し、各祭り・イベントの情報をリアルタイムで発信していく。</p>

NO.	アクションプラン名	内容	主な取り組み	実施主体	実施計画	2020年度の取組実績・進捗状況 【令和3年2月末時点】	2021年度の取組方針(課題を踏まえて)
			マスメディアや地域メディアとの連携強化	市(商工観光課) 市観光協会 ほか	短期 (1～3年)	<p>【市・市観光協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> これまでの観光プロモーション活動が実を結び、今年度も様々なメディアから「祖父江のイチョウ黄葉」や銀杏に関する取材や問合せが多数寄せられた。また、いなっピーグッズについて、新商品の情報を報道機関に積極的に提供した結果、度々新聞等に取り上げられ、売上増加に繋がった。 今年度は新型コロナウイルスの影響で、主要な祭り・イベントが中止又は縮小開催となり、メディアへの情報提供のタイミングやバランス調整に苦慮した。 <p>【祖父江町商工会】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「そぶえイチョウ黄葉まつり」は中止となったが、多くのメディアから問合せや取材が相次いだ。これらに全面的に協力することで、今後のメディアプロモーションに向けた関係構築に努めた。 	<p>【市・市観光協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> 稲沢市の観光資源の魅力を県内外に広く認知してもらうため、メディアを効果的に活用していく。各メディアに対して絶えず新鮮な情報を提供できるよう、地域とのコミュニケーションを常に意識し、情報収集力を高めていく <p>【市・市観光協会・祖父江町商工会】</p> <ul style="list-style-type: none"> 祭り・イベントの開催に向けてキャラバン隊を編成し、報道機関に対して重点的なキャンペーンを展開していく。
			フィルムコミッション事業の推進	市(商工観光課) 市観光協会	短期 (1～3年)	<p>【市】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「愛知県フィルムコミッション協議会」を通じて情報収集に努めた。 	<p>【市】</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き情報収集に努めるとともに、事業の具体化と体制づくりを検討していく。
			いなっピーの活用	市(商工観光課) 市観光協会	短期 (1～3年)	<p>【市】</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光PR活動に使用するいなっピーのノベルティシールを制作した。 <p>【市・市観光協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの影響で市内外の多くの祭り・イベントが中止となり、出張機会がほとんど無かった。 <p>【市観光協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> いなっピーグッズの新作として、折り畳み傘やマスクケースなどを制作し、販売に繋がった。また、豊田合成所属の男子プロバレーボールチーム「ウルフドックス名古屋」のマスコットキャラクター「ウルドくん」とのコラボ缶バッジを制作・販売し、新たな顧客の獲得に努めた。 	<p>【市・市観光協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの感染状況を見据えながら、市内外での観光PR機会を伺っていく。 <p>【市観光協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新たないなっピーグッズを制作することで、稲沢市への愛着と注目度の向上に繋げる。
			稲沢市キャンペーン・レディーの活用	市観光協会	短期 (1～3年)	<p>【市観光協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> キャンペーン・レディーが「性海寺のアジサイ」や市内の魅力スポットを紹介する動画を作成し、市観光協会の公式Webサイト及びYouTube上で配信した。 年間を通じては、新型コロナウイルスの影響で多くの祭り・イベントが中止となり、活動機会が限られた。 より幅広い層からの人材を求めため、応募資格から年齢上限を撤廃した。 	<p>【市観光協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> 稲沢市の観光PRと知名度向上に繋がるよう、祭り・イベントにおけるPR活動だけでなく、SNS等を活用した情報発信面でも積極的な活用を図っていく。また、活動内容の拡充に伴う名称変更も併せて検討していく。
			関係機関等と連携した観光プロモーションの推進	市(商工観光課) 県 市観光協会 県観光協会 観光事業者 交通事業者	短期 (1～3年)	<p>【市・市観光協会・県・県観光協会・交通事業者】</p> <ul style="list-style-type: none"> 愛知・名古屋観光誘客協議会への参画を通じて、旅行事業者に「祖父江のイチョウ黄葉」を始めとする稲沢市の観光素材を活用した特別企画等を提案した。また、同協議会が主催する観光商談会(オンライン)に参加し、旅行事業者に本市の企画を組み入れた旅行商品の造成を働きかけた。 <p>【市・市観光協会・県・県観光協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> 11月8日に県営都市公園大高緑地で開催された県主催のイベント「サムライ・ニンジャフェスティバル2020」に出展し、「信長公生誕の地・稲沢市」のPR活動を展開した。また、愛知のお城観光推進協議会への参画を通じて、12月19日、20日と横浜で開催された「お城EXPO 2020」において、観光ガイドBOOK「信長と稲沢」の配布を行った(出展なし)。さらに、2021年3月20日、21日開催予定の「にっぽん城まつり feat.出張！お城EXPO in 愛知」に愛西市と共同で出展し、愛知県、愛知県観光協会ほか県内自治体と連携し、勝幡城跡を始め愛知県が誇る城郭のPRを行う。 <p>・県及び県観光協会へ本市の観光・イベント情報を積極的に提供し、愛知の公式観光Webサイト「Aici Now」や愛知の旅まるごとマガジン「旬感観光あいち」を活用した情報の拡散を図った。</p>	<p>【市・市観光協会・県・県観光協会・交通事業者】</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光商談会(オンライン開催を含む。)や観光PR展等への参加を通じて旅行事業者を始めとする観光関係者との関係強化に努めるとともに、来訪者ニーズを踏まえた観光素材の楽しみ方やテーマ性のあるコース提案などに取り組み、新たな旅行商品の造成を促していく。また、愛知・名古屋観光誘客協議会への参画を通じて、愛知県、愛知県観光協会、運輸機関(鉄道会社等)との連携により、PR・プロモーションや周遊促進施策を効果的に展開し、本市への更なる観光誘客に繋げていく。 <p>【市・市観光協会・県・県観光協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「お城EXPO」を始めとする武将観光・城郭観光イベントへの出展のほか、愛知のお城観光推進協議会への参画を通じて、愛知県や愛知県観光協会、県内市町村と連携したお城観光を推進し、「信長公の生誕地＝稲沢市」の知名度向上と観光誘客に繋がるプロモーション活動を積極的に展開していく。 <p>・県が2021年度から実施する「あいち『ツウ』リズム」の取組に連動して、「(仮称)稲沢『ツウ』リズム」を展開し、稲沢市ならではの奥深い魅力を発信していく。</p>

NO.	アクションプラン名	内容	主な取り組み	実施主体	実施計画	2020年度の取組実績・進捗状況 【令和3年2月末時点】	2021年度の取組方針(課題を踏まえて)
			観光ポータルサイト・アプリの作成・運用	市(商工観光課) 市観光協会	中期 (3～5年)	<p>【市観光協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・稲沢市の観光に関する情報を幅広く収集し、市観光協会の公式Webサイトを通じてタイムリーに発信するよう努めた。また、利用者及び観光客のニーズに応えるため、同サイト内の掲載コンテンツの充実とアクセシビリティの改善に努めた。 <p>【市観光協会(いなざわ観光まちづくりラボ)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ラボメンバーが中心となって運営する情報ポータルサイト「いいなざわざわ」において、ラボメンバーが主催するイベントや市民が自ら取材して入手した稲沢市の隠れた魅力・スポット等の情報を随時発信した。 	<p>【市観光協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者及び観光客のニーズに応えるため、公式サイトに掲載するコンテンツを更に充実させ、訴求力の高いWebサイトへと改善を図っていく。また、SEO対策やアクセス解析等にも取り組んでいく。
			稲沢市観光PR大使の活用	市(商工観光課)	中期 (3～5年)	<p>【市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的な検討に至らず。 	<p>【市・市観光協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光PR大使の候補者を引き続き検討していく。
			『いなざわ』ブランドの創出と磨き上げ	市(商工観光課) 市観光協会 ほか	中期 (3～5年)	<p>【市観光協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「信長公生誕の地・稲沢市」の認知度を高めるため、市内の信長公ゆかりの地や観光スポット、飲食店・特産品店を巡る「信長くん育成スタンプラリー」を実施した。 ・「信長公生誕の地」を稲沢市の代表的なブランドへと発展させるため、そのためのPRツールとして、「勝幡城跡」の御城印販売のほか、現存しない勝幡城の姿を可視化する復元CG映像の制作を進めている。 <p>【祖父江ぎんなんブランド推進協議会(JA愛知西・市・市観光協会・県・祖父江町商工会・農工商業者)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内に点在する「祖父江ぎんなん」を使った料理や加工品を提供する店舗を繋げ、地域一体となってPRに取り組んでいくため、食をテーマに地域活性化と観光需要の拡大に向けた活動を行う地域を支援する、愛知県の「いいともあいち食の街道」制度に申請し、「祖父江ぎんなん街道」として認定を受けた。 	<p>【市・市観光協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光ガイドBOOK「信長と稲沢」や「勝幡城の御城印」などのPRグッズを効果的に活用し、武将観光・城郭観光イベントへの出展のほか、愛知のお城観光推進協議会への参画を通じて、「信長公生誕地・稲沢市」の知名度向上と観光誘客に繋がるプロモーション活動を積極的に展開する。また、市民グループや地域の歴史関係者との連携のほか、市民向けの啓発にも引き続き取り組み、市民の新たなアイデンティティ形成と観光まちづくり活動への発展を目指す。 <p>【市・市観光協会・祖父江町商工会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係者との連携の下、積極的な事業展開とPRに取り組むことで、更なる知名度向上と誘客に繋げ、「祖父江のイチヨウ黄葉」のブランド強化を図っていく。 <p>【祖父江町商工会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「祖父江ぎんなん街道」の認定を契機として、銀杏を使った菓子、料理を始め、黄金色に染まる景色を楽しんでもらえるように情報発信に努めていく。 <p>【祖父江ぎんなんブランド推進協議会(JA愛知西・市・市観光協会・県・祖父江町商工会・農工商業者)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協議会のホームページでイベント・販売情報を発信するなど、更なる知名度向上と消費拡大を目指し、地域一体となって「祖父江ぎんなん」の魅力を実感していく。
			戦略的な観光プロモーションの実現(再掲)	市(商工観光課) 市観光協会 ほか	中期 (3～5年)	<p>【市・市観光協会・県観光協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多数のアクセス数を誇る愛知の公式観光Webサイト「Aici Now」や愛知の旅まるごとマガジン「旬感観光あいち」を活用し、本市の観光・イベント情報の拡散を図った。 <p>【市観光協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「信長公生誕の地・稲沢市」の認知度を高めるため、「勝幡城跡」を始めとする市内の信長ゆかりの地や観光スポットと一緒に飲食店等を巡る「信長くん育成スタンプラリー」を実施した。また、「サムライ・ニンジャフェスティバル2020」を始めとする武将・城郭イベントに出展し、各会場でPR活動を展開した。 ・市民と共に稲沢市の魅力を発信するInstagram投稿キャンペーン「(仮称)いいね！いなざわ 稲沢の魅力再発見」の実施に向けて準備を進めている。 <p>【市観光協会・交通事業者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JR東海や名古屋鉄道に対してハイキングの実施を提案し、6月に稲沢あじさいまつり会場を通るJRさわやかウォーキング、9月に名鉄ハイキングを企画していたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、いずれも中止となった。 <p>【祖父江町商工会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「そぶえイチヨウ黄葉まつり」は中止となったが、多くのメディアから問合せや取材が相次いだ。これらに全面的に協力することで、今後のメディアプロモーションに向けた関係構築に努めた。 	<p>【市・市観光協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「お城EXPO」を始めとする武将観光・城郭観光イベントへの出展のほか、愛知のお城観光推進協議会への参画を通じて、愛知県や愛知県観光協会、県内市町村と連携したお城観光を推進し、「信長公の生誕地・稲沢市」の知名度向上と観光誘客に繋がるプロモーション活動を積極的に展開していく。 ・観光商談会(オンライン開催を含む。)や観光PR展等への参加を通じて旅行事業者を始めとする観光関係者との関係強化に努めるとともに、来訪者ニーズを踏まえた観光素材の楽しみ方やテーマ性のあるコース提案などに取り組む、新たな旅行商品の造成を促していく。また、愛知県、愛知県観光協会、運輸機関(鉄道会社等)やマスメディア等との連携により、PR・プロモーションや周遊促進施策を効果的に展開し、本市への更なる観光誘客に繋げていく。 ・豊田合成記念体育館(エントリオ)でプロスポーツチームの公式戦が今後も年間を通じて開催され、多くの来場者が見込まれる。試合観戦と共に市内の周遊観光を楽しんでいただけるよう、来場者に向けた観光PRを仕掛けていく。 <p>【市観光協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Instagram投稿キャンペーン「(仮称)いいね！いなざわ 稲沢の魅力再発見」を展開しながら、市民や地域を巻き込んだ稲沢の魅力発信に取り組んでいく。

NO.	アクションプラン名	内容	主な取り組み	実施主体	実施計画	2020年度の実績・進捗状況 【令和3年2月末時点】	2021年度の実績方針(課題を踏まえて)
3	② 食の魅力づくり・お土産品の開発	<p>◆本市の食材や食品、食文化を活用したイベント等の際に、食材・食品のPRと合わせて生産者、販売者の“こだわり”等を情報発信することで、商品の付加価値を高め、販路の拡大につなげる。</p> <p>◆「食」の地域ブランド化を推進し、シティプロモーションのツールとして活用する。</p> <p>◆市民や来訪者が特産品をいつでも気軽に入手でき、さらに飲食や休憩などでもできる場所として、主要駅前周辺施設や商店街空店舗の活用、JAの共同直売所の充実をはじめ、交流拠点の整備について検討していく。</p> <p>◆各祭り・イベントにおいて稲沢市PRコーナーを設置し、来訪者が特産品を気軽に購入できる環境を整備する。</p>	<p>稲沢市の「食」を活用したイベントの開催</p> <p>特産品の認定及び販路拡大</p>	<p>市(商工観光課) 市(農務課) 市観光協会 商工会議所 商工会 JA 観光事業者 農工商業者</p> <p>市(商工観光課) 市(農務課) 市観光協会 商工会議所 商工会 JA 観光事業者 農工商業者</p>	<p>短期 (1~3年)</p> <p>短期 (1~3年)</p>	<p>【市・農工商業者】 ・新型コロナウイルスの影響で祭り・イベントでの農産物・加工品の販売機会が限られた中、生産者が各自SNSを活用し“こだわり”を発信した。 また、SNS等やネット通販を活用した農産物・加工品の販促方法など、時代に応じたこれからの6次産業の形を学ぶ「6次産業化研修会」を11月~12月にかけて全5回開催した。</p> <p>【市観光協会】 ・新鮮な稲沢産の食材を美味しくおしゃれに味わうためのイベントとして、「地産地消おしゃれな料理教室」を9月12日、13日に開催した。 また、当日の調理模様を撮影した動画を市観光協会の公式Webサイト上に公開し、稲沢市の食の魅力を広くPRした。</p> <p>・コロナ禍で消費が落ち込む飲食業界を支援するため、スマートフォンを活用し、市内の信長公ゆかりの地や観光スポットと一緒に飲食店・特産品店を巡る「信長くん育成スタンプラリー」を実施した。また、従来から実施している「おすすめグルメシールラリー」も、新たな店舗を加えて実施した。</p> <p>・コロナ禍で利用者が減少した地元飲食店を支援するため、市観光協会の公式Webサイト内で「テイクアウトできる店」を特集掲載した。</p> <p>【稲沢商工会議所】 ・コロナ禍で飲食店が疲弊しているため、9月12日・13日に市内のショッピングセンターにおいて、市内店舗を応援・PRするイベント「稲沢エール飯」を開催した。</p> <p>【市・農工商業者】 ・新型コロナウイルスの感染拡大に伴い近隣市町村で行われる多くのイベントが中止となる中、一宮市で行われた祭りに参加し、稲沢の苗木を入学記念樹として配布しPRした。また、「植木のまち・稲沢市」を明記したラベル(植札)を作成し、植木生産者に使用してもらうことで植木産業のPRに繋がった。</p> <p>【市観光協会】 ・稲沢グランドボウルで開催された小・中・高校生のボウリング全国大会(2021年1月9日、10日)に出店し、特産品販売とパンフレット等による稲沢市の観光PRを行った。</p> <p>・「国府宮はだか祭」(2021年2月24日開催)の来場者に対し、市内の農業生産者の協力の下、会場近くのJA愛知西国府宮支店の駐車場を利用して特産品の宣伝販売を行った。</p> <p>・2021年3月6日、7日開催の「いなざわ梅まつり」において、特産品の販売を行う。</p> <p>・11月28、29日に豊田合成記念体育館(エントリオ)で開催された男子プロバレーボールチーム「ウルブックス名古屋」のホームゲーム「ウルドタウン稲沢デー」に出店し、来場者に特産品やいなッピーグッズ等の販売を行った。</p> <p>【稲沢商工会議所】 ・稲沢市特産品認定委員会を開催し、新規13商品を加えた28事業所43品目を認定した。これを受けて、「稲沢の特産品ガイド」を新たに発行し、PR及び販売促進に活用した。</p> <p>【祖父江町商工会】 ・金山駅で開催された物産展に商工会員と共に出店し、銀杏と銀杏加工品のPR販売を行った。</p>	<p>【市】 ・新型コロナウイルスの影響で祭り・イベントでの出店機会が減少していることから、SNS等を活用して農業者の“こだわり”を発信できる場や民間業者や製造業者とのマッチングの場を設け、販路の拡大に繋げていく。</p> <p>【市観光協会】 ・「地産地消おしゃれな料理教室」を引き続き開催する。</p> <p>【商工会議所・商工会】 ・今後関係団体と協議していく。</p> <p>【市・市観光協会】 ・美濃路街道連携協議会の幹事市として、2021年10月の稲沢まつりの際に美濃路街道交流物産展を開催し、銀杏の試食販売と稲沢市の観光PRを行う。</p> <p>【市・市観光協会・商工会議所・商工会】 ・ふるさと納税ポータルサイトを活用して、稲沢市ふるさと応援寄付制度の返礼品となる本市特産品の魅力を全国に発信していく。</p> <p>【市・農工商業者】 ・市外のまつりにも引き続き出店し、植木、苗木の販路拡大につなげていく。</p> <p>【市観光協会】 ・観光イベントに限らず、市外から多くの来場者が見込める各種イベント(スポーツ大会など)に出店し、本市の特産品や観光情報のPRを行っていく。</p> <p>・豊田合成記念体育館(エントリオ)でプロスポーツチームの公式戦が年間を通じて開催され、多くの来場者が訪れているので、併設のコンビニ「ポプラ」での特産品販売、レストラン「&トレッセ」での銀杏を活用したメニューの提供など、観光面での連携が図れるよう調整を進めていく。</p> <p>【稲沢商工会議所】 ・イベント等で幅広く特産品を紹介し、販路拡大に繋げていく。</p> <p>【祖父江町商工会】 ・事業者に対し、「そぶえイチョウ黄葉まつり」や物産展への出店を呼び掛けるとともに、販路拡大に繋がる取組みを推進していく。</p> <p>【JA愛知西】 ・JA地産地消まつりで「祖父江さんなん」の販売を行うとともに、各産直広場で銀杏の販売促進を図っていく。</p>

NO.	アクションプラン名	内容	主な取り組み	実施主体	実施計画	2020年度の取組実績・進捗状況 【令和3年2月末時点】	2021年度の取組方針(課題を踏まえて)
						<p>【祖父江町商工会】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「そぶえイチョウ黄葉まつり」は中止となったが、イチョウ黄葉の観賞に訪れた方に向けて、地元飲食店及び土産・特産品店の一覧表と地図を商工会のホームページに掲載し、PRに努めた。なお、来年度に向けて各店舗の提供情報を充実させるため、希望する店舗の紹介ページを年度内に作成し、掲載していく。 <p>【JA愛知西】</p> <ul style="list-style-type: none"> 11月開催のJA感謝祭で「祖父江ぎんなん」の販売を予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い中止した。 GOTOトラベルキャンペーン事業を活用し、三重県伊勢志摩地域のホテルと連携して、「祖父江ぎんなん」と海の幸を満喫する旅行企画を提供した。 「祖父江ぎんなん」の保存方法や食べ頃を記載したリーフレットを通信販売やイベント販売時に活用した。 農産物出荷者を増やすため、生産者に産直施設のメリットをPRした。 <p>【祖父江ぎんなんブランド推進協議会(JA愛知西・市・市観光協会・県・祖父江町商工会・農商工業者)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内に点在する「祖父江ぎんなん」を使った料理や加工品を提供する店舗をつなげ、地域一体となってPRに取り組んでいくため、食をテーマに地域活性化と観光需要の拡大に向けた活動を行う地域を支援する、県の「いいともあいち食の街道」制度に申請した結果、「祖父江ぎんなん街道」として認定を受けた。 「祖父江ぎんなん」を県内外に広くPRするための宣伝販売活動を予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて自粛した。 	<p>【JA愛知西】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「祖父江ぎんなん」の保存方法や食べ頃を記載したリーフレットを通信販売やイベント販売時に継続活用していく。 <p>【祖父江ぎんなんブランド推進協議会(JA愛知西・市・市観光協会・県・祖父江町商工会・農商工業者)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 協議会のホームページでイベント・販売情報を発信するなど、更なる知名度向上と消費拡大を目指し、地域一体となって「祖父江ぎんなん」の魅力をPRしていく。
		稲沢市の特性を活かした土産品の開発		市(商工観光課) 市観光協会 商工会議所 商工会 JA 観光事業者 農商工業者 市民団体	中期 (3~5年)	<p>【市観光協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「信長公生誕の地・勝幡城跡」への来訪記念グッズとして、御城印の制作販売を進めている。 <p>【祖父江町商工会】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域資源「イチョウ・銀杏」を活用した通年型商品の開発を検討するため、国の補助事業により銀杏の有効成分を活用した機能性飲料4種類及びメガネフレーム2種類の試作品を開発した。飲料については、店舗の協力を得て試飲モニタリング調査を実施している。 <p>【平和町商工会・大学】</p> <ul style="list-style-type: none"> 食を通じて平和町の桜のPRと地域の発展、新型コロナ感染拡大により落ち込んだ消費ニーズの起爆剤とするため、「桜」をテーマとした商品の開発に取り組んだ。開発に当たっては、愛知文教女子短期大学に依頼し、4商品のメニュー提案を受けた。この中の3商品に加え、独自に開発した商品を取り扱う16事業者が決定したため、近日中に発表する予定である。 	<p>【市観光協会①】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「信長公生誕の地・勝幡城跡」への来訪記念グッズとして、御城印に続き、新たに「信長公武将印」、「勝幡城の縄張り図」の制作販売に取り組んでいく。 美濃路稲葉宿の魅力を高め、誘客を促進するためのツールとして、新たに「稲葉宿御宿印」の制作販売に取り組んでいく。 <p>【祖父江町商工会】</p> <ul style="list-style-type: none"> 開発中の飲料については、2019年度・2020年度に実施した試飲モニタリング調査の結果を基に、今後の商品化を目指していく。 <p>【平和町商工会】</p> <ul style="list-style-type: none"> 愛知文教女子短期大学と連携しながら、引き続き新商品の開発に取り組んでいく。
		「食」の地域ブランド化の推進		市(商工観光課) 市(農務課) 市観光協会 商工会議所 商工会 JA 農商工業者	中期 (3~5年)	<p>【祖父江ぎんなんブランド推進協議会(JA愛知西・市・市観光協会・県・祖父江町商工会・農商工業者)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内に点在する「祖父江ぎんなん」を使った料理や加工品を提供する店舗を繋げ、地域一体となってPRに取り組んでいくため、食をテーマに地域活性化と観光需要の拡大に向けた活動を行う地域を支援する、愛知県の「いいともあいち食の街道」制度に申請し、「祖父江ぎんなん街道」として認定を受けた。 	<p>【市】</p> <ul style="list-style-type: none"> 特産品のブランド強化及び6次産業化の推進に向けて、関係団体等と連携していく。 <p>【稲沢商工会議所・祖父江町商工会・平和町商工会】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後も関係団体と協議していく。 <p>【祖父江町商工会】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「祖父江ぎんなん街道」の認定を契機として、ぎんなんを使った菓子、料理をはじめ、黄金色に染まる景色を楽しんでもらえるように情報発信に努めていく。 <p>【祖父江ぎんなんブランド推進協議会(JA愛知西・市・市観光協会・県・祖父江町商工会・農商工業者)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「祖父江ぎんなん」のブランド強化に向けて、精力的な宣伝販売活動に取り組んでいく。

NO.	アクションプラン名	内容	主な取り組み	実施主体	実施計画	2020年度の取組実績・進捗状況 【令和3年2月末時点】	2021年度の取組方針(課題を踏まえて)
			生産者と消費者をつなげる交流拠点の整備	市(商工観光課) 市(農務課) 市(生涯学習課) 市観光協会 商工会議所 商工会 JA 農商工業者	長期 (5年以上)	【市・農商工業者】 ・農産物出荷者・団体がJA等の店舗において、産直出店を行った。 【祖父江町商工会】 ・「そふえイチョウ黄葉まつり」は中止となったが、イチョウ黄葉の観賞に訪れた方に向けて、地元飲食店及び土産・特産品店の一覧表と地図を商工会のホームページに掲載し、PRに努めた。 【JA愛知西】 ・農産物出荷者を増やすため、生産者に産直施設のメリットをPRした。	【市】 ・史跡尾張国分寺跡の保存整備計画を具体化していく中で、地域産業振興拠点としての「(仮称)ふれあい広場」について、関係部署と共に検討していく。 【市・農商工業者】 ・産直販売について現在は不定期開催のため、リピーターとなる顧客の確保が難しい状況にある。そのため、定期開催もしくは次回の開催日を周知できるようチラシの作成やSNS等の媒体を活用したPRを検討する。また、農業者団体の枠を超えて農業者間の横の繋がりを広げていく必要がある。 【稲沢商工会議所】 ・特産品を一般消費者に紹介するため、商工会議所会館内に特産品コーナーを設け、交流・紹介の拠点とする。 【祖父江町商工会】 ・今後、交流拠点の整備に努める。 【平和町商工会】 ・今後関係団体と協議していく。 【JA愛知西】 ・農産物出荷者を増やすため、生産者に産直施設のメリットを引き続きPRしていく。
3	③ 観光施設の安全確保と利便性の向上	◆子どもから高齢者、障害を持った方、外国人など来訪者の誰もが安心して観光施設を利用できるよう、施設の適正な維持管理に努める。 ◆バリアフリー化やユニバーサルデザイン化、Wi-Fi環境の整備を推進し、施設利用者の利便性向上を図る。	観光関連施設におけるWi-Fi環境の整備(再掲)	市(商工観光課) 市観光協会 観光事業者 交通事業者 寺社 農商工業者 ほか	中期 (3~5年)	【市】 ・2021年3月6日、7日に開催予定の「いなざわ梅まつり」において、来場者サービスの一環として無料Wi-Fiスポットを開設する。 (その他の祭り・イベントでも開設を予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い中止となったため、設置できず。) ・11月3日に美濃路稲葉宿本陣跡ひろばで開催した「稲沢再発見シンポジウム 美濃路稲葉宿本陣跡ひろばで歴史を語る」、11月28日に国府宮参道で開催した「稲沢イルミネーション点灯式」において臨時のWi-Fiスポットを開設し、現地からのオンライン生配信に活用した。	【市】 ・毎年多くの観光客が見込まれる祭り・イベントにおいて、来場者サービスの一環として会場内に無料Wi-Fiスポットを開設する。現地情報の拡散を促すことで、更なる観光誘客に繋げていく。また、コロナ禍における新たなイベントの実施手法として、オンライン配信での活用も引き続き行っていく。
			観光関連施設の適切な維持・管理	市(商工観光課) 市観光協会 観光事業者 交通事業者 寺社 農商工業者	長期 (5年以上)	【市】 ・引き続き、施設の適切な維持・管理に努めた。 ・「稲沢あじさいまつり」の会場でもある大塚性海寺歴史公園に植栽されているアジサイについて、1991年度の整備完了から約30年が経過し、大規模な植え替えが必要となっていることから、園内景観の保全のため今年度から5か年かけて順次整備を行っていく。	【市】 ・誰もが安心して観光施設を利用できるよう、引き続き適切な維持・管理に努めていく。 ・大塚性海寺歴史公園に植栽されているアジサイについて、引き続き植え替え整備を行う。
			観光関連施設におけるバリアフリー化等の推進	市(商工観光課) 市観光協会 観光事業者 交通事業者 寺社 農商工業者	長期 (5年以上)	実施なし	【市・市観光協会】 ・市内の主要観光施設における現状調査を順次実施し、バリアフリー対応の実態把握に努める。把握できた情報は、市観光協会の公式Webサイト等に順次掲載していく。

NO.	アクションプラン名	内容	主な取り組み	実施主体	実施計画	2020年度の取組実績・進捗状況 【令和3年2月末時点】	2021年度の取組方針(課題を踏まえて)
3	④ 交通アクセスの充実・活用	<p>◆コミュニティバスなどの公共交通機関や民間事業者と連携したレンタサイクルの活用などを検討し、市内を広く周遊できる環境を整備する。</p> <p>◆鉄道事業者との連携をさらに進め、外部からの誘客を図る事業を企画・立案し、来訪・交流人口の拡大による地域の活性化へとつなげる。</p>	稲沢市コミュニティバスの活用	市(商工観光課) 市観光協会	短期 (1~3年)	【市観光協会】 ・来訪者に対し、市内の主要観光スポットへの二次交通手段として、コミュニティバスの活用を促した。なお、元来観光客の利用を想定したバスではないため、時間帯によっては本数が少ないことが課題である。	【市観光協会】 ・バス路線の改訂に合わせて、市内観光マップ「コミュニティバスに乗って観光地へ行こう!!」を改訂発行する。 ・コミュニティバスを二次交通手段として効果的に活用できる方法を検討する。
			民間事業者と連携したレンタサイクル等の二次交通の開発・運営の検討	市(商工観光課) 市観光協会 観光事業者 市民団体	中期 (3~5年)	未実施	【市・市観光協会】 ・実施に向けて調査研究していく。
			鉄道事業者と連携した誘客促進	市(商工観光課) 市観光協会 交通事業者	中期 (3~5年)	<p>【市観光協会・交通事業者】 ・JR東海や名古屋鉄道に対してハイキングの実施を提案し、6月に稲沢あじさいまつり会場を通るJRさわやかウォーキング、9月に名鉄ハイキングを企画していたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、いずれも中止となった。</p> <p>【市・市観光協会・県・県観光協会・交通事業者】 ・愛知・名古屋観光誘客協議会とJR東海が連携し、2021年7月から9月にかけて展開していく「冷やし旅」キャンペーンの企画に組み込んでもらえるよう、市内で楽しめる「冷やし旅」コンテンツを提案した。</p>	<p>【市・市観光協会・県・県観光協会・交通事業者】 ・愛知・名古屋観光誘客協議会への参画を通じて、愛知県、愛知県観光協会、運輸機関(鉄道会社等)との連携により、PR・プロモーションや周遊促進施策を効果的に展開し、本市への更なる観光誘客に繋げていく。</p> <p>【市・市観光協会・交通事業者】 ・2021年6月12日に「稲沢あじさいまつり」会場を通るJRさわやかウォーキングが実施される予定となっている。JR東海の協力により一定の集客が見込めるため、今後関係者と連携を図りながら、受入準備を進めていく。また、JR東海と名古屋鉄道に対し、市内での新たなハイキングの実施に向けて、積極的な提案を行っていく。</p>
3	⑤ トイレ、休憩所、駐車場の整備及び案内	<p>◆市内を散策又はドライブ周遊する際に必要なトイレや休憩できる場所、駐車場について順次整備を進めるとともに、それらの情報を来訪者に分かりやすく提供する。</p> <p>◆各施設の整備に際しては、来訪者の誰もが安心して利用できるよう、</p>	トイレ、休憩所、駐車場に関する情報提供	市(商工観光課) 市観光協会	短期 (1~3年)	【市・市観光協会】 ・トイレ、休憩所、駐車場の設置状況が把握できた施設から順次、市観光協会の公式Webサイトに情報掲載した。	【市・市観光協会】 ・市内の主要観光施設における現状調査を引き続き実施する。把握できた情報は、市観光協会の公式Webサイト等に順次掲載していく。
			トイレ、休憩所、駐車場の適切な整備	市(商工観光課) 国・県 観光事業者 交通事業者 寺社	中期 (3~5年)	<p>【市観光協会】 ・「国府宮はだか祭」の開催に際して、来場者の利便性向上のため、国府宮駅前ロータリーと名古屋文理大学文化フォーラム駐車場に仮設トイレを設置する。また、障がい者の社会進出支援の観点から、「いなざわ梅まつり」(3月6日・7日開催)において、一般用の仮設トイレと共に車いす対応の仮設トイレを設置する。</p>	<p>【市】 ・各施設の適切な維持管理に努めていく。</p> <p>【市観光協会】 ・来場者の利便性向上のため、イベント時の仮設トイレの設置に今後も継続して取り組んでいく。</p>
3	⑥ イベント民泊の実施	◆国府宮はだか祭をはじめ多数の集客が見込まれる祭り・イベント時の交流促進や観光消費の拡大等につげるため、宿泊施設の不足解消に向けた一つの対策として、イベント民泊の実施について検討する。	イベント民泊の検討	市(商工観光課) 市観光協会 観光事業者 寺社 市民個人	長期 (5年以上)	未実施	【市・市観光協会】 ・実施に向けて調査研究を進めていく。
3	⑦ イベント・コンベンションの誘致	<p>◆東京オリンピック・パラリンピック競技大会や夏季アジア競技大会をはじめとする国際的規模のスポーツ大会の開催機会を捉え、スポーツ・文化の事前合宿やイベント・コンベンションを誘致し、地域経済の活性化につなげる。</p> <p>◆誘致に際しては、名神高速道路、東名阪自動車道などの高速道路ネットワークに近接した立地環境や名古屋市から鉄道で約10分圏内であるという利便性を強調するほか、本市にある実業団スポーツチームとも連携協力し、イベント・コンベンションの開催地としての魅力をアピールしていく。</p>	アジア競技大会・ボウリング競技における開催地誘致活動の推進	市(スポーツ課)	長期 (5年以上)	【市】 ・進捗なし	【市】 ・会場選定等の具体的なスケジュールが未だ示されていないため、関連イベントや会議等に積極的に参加しながら、機会を捉えて本市での開催をアピールしていきたい。
			イベント(コンサート、発表会)・コンベンション(会議、集会、大会)の誘致	市(商工観光課) 市(スポーツ課) 市観光協会 商工会議所 商工会	長期 (5年以上)	<p>【市】 ・JR稲沢駅の東側に豊田合成記念体育館(エントリオ)が9月末にオープンした。当施設では、国内トップレベルのバレーボール、ハンドボール、バスケットボールの試合が開催されており、名古屋駅からJRで約10分というアクセス良好の立地もあって、観戦を目的に市外から多くの来場者が訪れている。</p>	<p>【市・市観光協会・商工会議所・商工会】 ・誘致可能なイベント等の有無を検討していく。</p> <p>【市観光協会】 ・豊田合成記念体育館(エントリオ)でプロスポーツチームの公式戦が今後も年間を通じて開催され、多くの来場者が見込まれる。施設の開放や併設のコンビニ「ポプラ」での特産品販売、レストラン「&トレッセ」での銀杏を活用したメニューの提供や旅行商品への参画など、観光面での連携が図れるよう調整を進めていく。また、試合観戦と共に市内観光を楽しんでいただけるよう、来場者に向けたPR活動を行っていく。</p>

NO.	アクションプラン名	内容	主な取り組み	実施主体	実施計画	2020年度の取組実績・進捗状況 【令和3年2月末時点】	2021年度の取組方針(課題を踏まえて)
3	⑧ 国際姉妹友好都市との交流による外国人観光客の誘致	◆東京オリンピック・パラリンピック競技大会や夏季アジア競技大会の開催を契機として、姉妹都市であるギリシャのオリンピア市や友好都市である中国の赤峰市との交流を促進し、相互理解を深めるとともに、外国人観光客の誘客を図る。	ギリシャ共和国・オリンピア市ホストタウン推進事業	市(秘書広報課)	短期 (1~3年)	【市】 ・4月6日に市内を通過する「東京2020オリンピック聖火リレー」に合わせて、姉妹都市ギリシャ・オリンピア市から市長や学生の訪問団を受け入れ、学生は市内でホームステイをする予定だったが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い聖火リレーが延期となり、受入も中止となった。 また、2021年1月15日にオリンピア市長及び副市長とオンラインで会談し、互いの市の現状報告や開催が近付いてきた東京オリンピック、来年の冬季北京オリンピック等について意見交換した。 【市観光協会】 ・東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けて、市民のギリシャ(オリンピア市)に対する関心を高めるため、ギリシャ大使館と協力し、総会での大使館職員による講演会を計画したが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い中止した。	【市】 ・東京オリンピックに合わせて、オリンピア市から訪問団を受け入れる。また、オリンピックに出場するギリシャ人選手と市民との交流事業を実施する。 【市観光協会】 ・東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けて、市民のギリシャ(オリンピア市)に対する関心を高めるため、駐日ギリシャ大使館と協力し、観光誘客に向けた取組を計画する。
			国際友好事業	市(秘書広報課) 観光事業者 市民団体 市国際友好協会	中期 (3~5年)	【市】 ・国際友好協会による「語学講座」、「料理講座」等の開催支援を行った。	【市】 ・外国人にとって魅力ある事業になるよう、国際友好協会主催事業の充実を図る。
3	⑨ 観光まちづくりに資する観光統計の充実	◆地域づくりに資する指標と経済効果に関わる指標を併せて把握し、地域づくりと収益性の両面を満たした持続可能な観光まちづくりを目指す。 ◆ターゲットを絞ったプロモーションを実施し、市内への誘客につなげていくため、来訪者の属性や市内観光消費額、外国人観光客数等の必要な統計数値を各種調査により把握し、効果検証を重ね、事業の見直しと新規施策の企画立案に活用する。	アンケート調査等による市民意識の把握	市(商工観光課) 市観光協会	短期 (1~3年)	【市】 ・2020年8月に市政世論調査を実施し、①「稲沢市の観光振興に対する市民満足度」及び②「稲沢市に対して誇りや愛着を持つ市民の割合」の把握に努めた。	【市】 ・2022年に市政世論調査を実施予定(隔年調査)。
			来訪者等に対するマーケティング調査の実施	市(商工観光課) 市観光協会	中期 (3~5年)	【市観光協会】 ・「信長くん育成スタンプラリー」の参加者にオンラインアンケート調査を実施し、登録店舗での一人当たり観光消費額の把握に努めた。また、「いなざわ梅まつり」において、来場者にアンケート調査を実施し、来訪者の特徴と市内での一人当たり観光消費額の把握に努める。	【市・市観光協会】 ・今後も継続的にアンケート調査を実施し、観光客のニーズを把握することで、祭り・イベントの運営や観光プロモーション活動に反映し、持続的な観光誘客に繋げていく。また、より精度の高い市内観光消費額の把握に努め、観光を活用した地域経済が潤う仕組みの構築に繋げていく。
			観光に関する統計の整備	市(商工観光課) 市観光協会	中期 (3~5年)	【市・市観光協会】 ・愛知県観光レクリエーション利用者統計に基づく観光入込客数以外に、市内の各種祭り・イベント、施設等への来訪者数の把握に努めた。	【市・市観光協会】 ・今後も継続的に来訪者数調査を実施し、効果検証を重ねることで、市内への誘客に繋げていく。また、観光客の動向やニーズ、トレンド等、国や県が実施する観光統計調査の情報を把握し、稲沢への来訪促進や消費拡大に向けて活用していく。さらに、外国人観光客数を把握する有効な手法についても調査研究を進めていく。